

# TOTO

**施工説明書**

## レストパル

### I型 壁排水

手洗器あり／収納タイプ (UWCCE1/2)

手洗器あり／収納タイプ・立管対応タイプ (UWCCE3～6)

手洗器なし／まるごと収納タイプ (UWCDD1/2)

手洗器なし／まるごと収納タイプ・立管対応タイプ (UWCDD3～6)

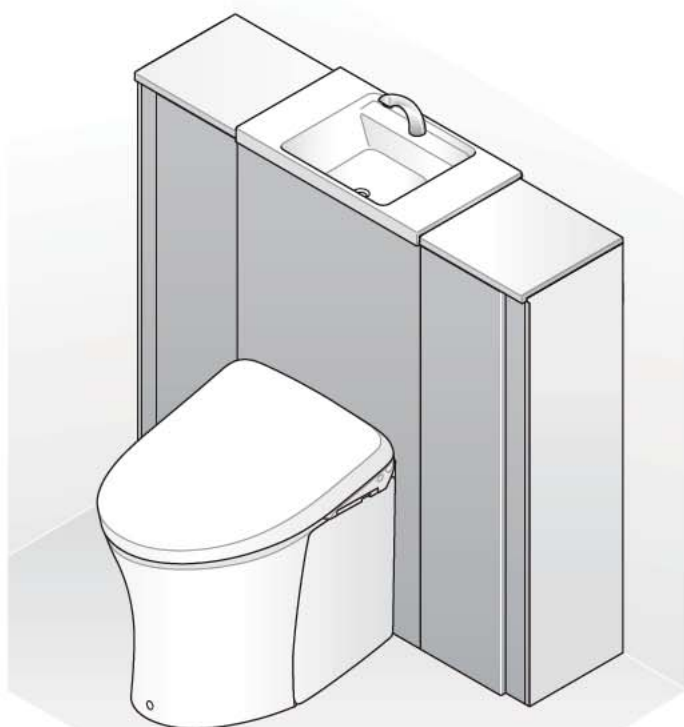
手洗器なし／収納タイプ (UWCDE1/2)

手洗器なし／収納タイプ・立管対応タイプ (UWCDE3～6)

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。  
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。本書に記載の寸法の単位はmmです。

本書とあわせて、各部材に付属の説明書やチラシをご確認のうえ、正しく取り付けてください。



確認

## 商品タイプの確認 2

### 情報編 3

- |            |    |
|------------|----|
| 1. 安全上のご注意 | 4  |
| 2. 取付前のご注意 | 6  |
| 3. 部品の確認   | 16 |

### 手順編 21

動画を見る

#### 施工の流れ

当社のウェブサイトから、施工動画をご確認いただけます。

※通信料がかかります。

※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。



## 工事店様へ

 試運転で必ず実施してください。

**便器洗浄をして水たまり面が低下する場合**
**→ P44を参照**

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

※低下すると汚物付着の原因になります。

水たまり面が低下した場合は、設定変更にて対応してください。

**自治体によって洗浄水量の規制がある場合**
**→ P44を参照**
 取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡ししてください。

お渡しできない場合は、目立つ場所に置いてください。

 取付後、ウォシュレットの機能、使いかたなどについてお客様にご説明をお願いいたします。

 新築などでお客様に引渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。

# 商品タイプの確認

商品タイプにより施工手順が異なります。

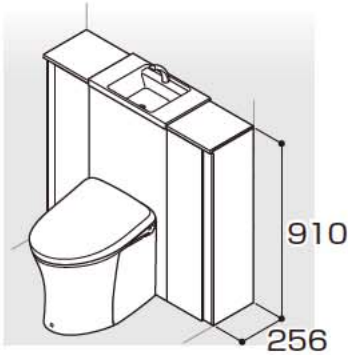
お施主様のお宅は、どのタイプですか？

## 手洗器タイプ

### 手洗器あり

#### 収納タイプ

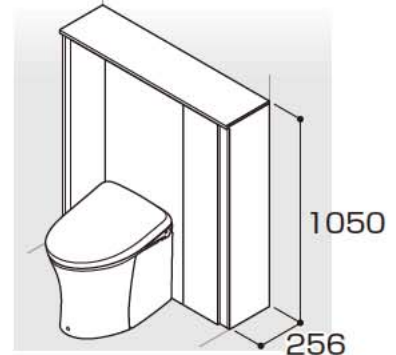
品番:UWCCE~



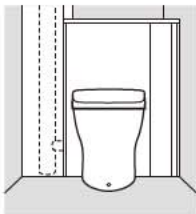
### 手洗器なし

#### まるごと収納タイプ

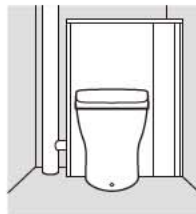
品番:UWCDD~



#### 立管対応タイプ



隠ぺいタイプ



露出タイプ

#### 収納タイプ

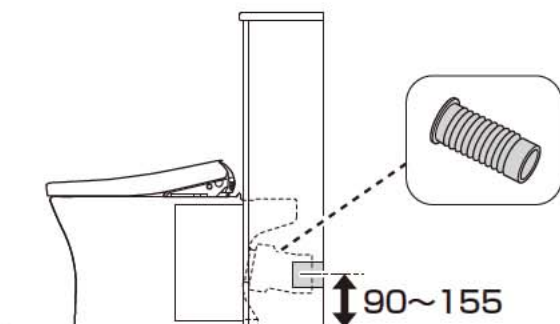
品番:UWCDE~



## 給排水タイプ

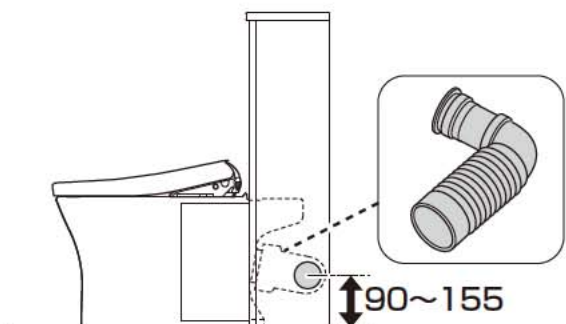
### 後ろ抜き

給水新設 | 既存給水流用(リモデル用)



### 左右抜き

給水新設 | 既存給水流用(リモデル用)



# 情報編

## 1. 安全上のご注意 ▶ 4

---

## 2. 取付前のご注意 ▶ 6

<b>1</b>	設置寸法	6
<b>2</b>	キャビネット扉の開閉範囲	7
<b>3</b>	排水位置	7
<b>4</b>	給水位置	9
<b>5</b>	補強材位置	11
<b>6</b>	電気配線	13
<b>7</b>	幅木	14
<b>8</b>	窓枠など	15
<b>9</b>	必要工具	15
<b>10</b>	壁裏補強材なしの場合のオプション品	15

---

## 3. 部品の確認 ▶ 16

---

# 1.安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取付前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。  
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

●表示と意味はつぎのようになっています。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。



**警告**

誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



してはいけない「禁止」の内容です。



**注意**



誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害※の発生が想定される」内容です。





必ず実行していただく「強制」の内容です。










※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

 分解禁止	修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 火災や感電の原因となります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となります。
	 アース接続		アース(D種接地)工事がされていることを確認する アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電の原因となります。 アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。
 <b>警告</b>	 禁止	指定する電源(交流100V)以外では使用しない 火災の原因となります。	電源プラグやコードが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいまま使用しない 火災や感電の原因となります。
		電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因となります。
		屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所に取り付けない 取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがやときに死亡の原因となります。	給水および排水管の真下部にコンセントを設置しない 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。
		雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因となります。	器具取付用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線を通さない 火災や感電の原因となります。 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
		ウォシュレットの給水ホースをコンセントに接触させない 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
		電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因となります。	壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏を補強する 商品の転倒、落下によりけがやときに死亡の原因となります。
 必ず守る	コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因となります。	
	取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。	工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する 商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。	

 <p><b>警告</b></p>	 <p>必ず守る</p>	<p>石こうボードの場合は指定のボードアンカーを使用する 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。</p>	<p>機器の設置は専門業者が行う また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う 火災や感電の原因となります。水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。</p>
	<p>商品を取り付ける柱・間柱は、腐食などで強度不足でないことを確認する 取付物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。</p>	<p>コンセントは水や小水がかからない位置に設置する コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。</p>	

 <p><b>注意</b></p>	 <p>禁止</p>	<p>止水栓を開けたままで給水フィルターを外さない 水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	<p>給水ホースが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 給水ホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>
		<p>水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外は使用しない 皮膚の炎症などを起こす原因となります。</p>	<p>カウンターの上に乗って作業しない カウンターが破損したり落下したりして、けがの原因となります。</p>
	<p>商品に強い力や衝撃を与えない 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。 水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	<p>設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	
	<p>給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p> <p><b>※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。</b></p>	<p>給水・排水接続に関する作業は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	
	<p>工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	<p>給水ホースと分岐金具を正しく接続する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	
	<p>カットした面は滑らかに仕上げる 滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがをする原因となります。</p>	<p>ねじ部の固定については、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 商品が破損し、けがをする原因となります。</p>	
	<p>商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。</p>	<p>水平器を用いて水平に設置する 収納物が落下してけがの原因となります。</p>	
	<p>商品の壁への固定が完了するまで、もたれたり物を載せたりしないよう十分注意する 商品が倒れたり落下してけがの原因となります。</p>	<p>手洗器など、器具周囲のすき間処理は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 水が浸入し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	
<p>推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。</p>	<p>便器の水たまり部を見て、封水が切れていないことを確認する 封水が切れている場合に下水ガスや塩素ガス、硫化水素などによって設備・機器が腐食し、物的損害・傷害の生じるおそれがあります。</p>		
<p>凍結のおそれがある地域では、凍結防止工事を行う 凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>			

**マーク表示について**

 <p>手締めで 電動ドライバー使用禁止です。 手締めしてください。</p>	 <p>カット カットしてください。</p>	 <p>水平確認</p>	 <p>垂直確認</p>	<p>水平器で水平・垂直確認してください。</p>
 <p>下穴 下穴をあけてください。 (例:φ3の場合)</p>	 <p>ボードアンカー ボードアンカーを差し込んでください。</p>			
 <p>シール シールテープを巻いてください。</p>	 <p>けがき</p>	 <p>けがき</p>		<p>けがきをしてください。</p>

## 2.取付前のご注意

施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようにしてください。  
金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。

### 取付前の確認

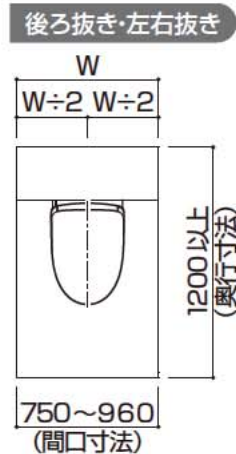
- 1 取り付けに必要なトイレスペースを確保する  
▶P.6「設置寸法」参照
- 2 給水取出位置・排水管位置およびコンセント位置が所定の位置であることを確認する  
※ウォシュレット用電源コードの長さは約1mです。  
コンセントはこの長さに適した所定の位置に設置しているか確認してください。
- 3 給水条件  
最低必要水圧：0.05MPa(流動時)  
最高水圧：0.75MPa(静止時)  
給水温度：40℃以下  
この圧力範囲で使用してください。
- 4 キャビネットの表面に指定のクッション材・ラベル以外ははらない
- 5 ボードアンカーは、引抜強度200N以上のものを使用して、正しい施工方法で取り付ける
- 6 便器を防火区画貫通部より1m以内に設置の場合は、事前に所轄消防署に確認し、その指示に従う

#### 参照

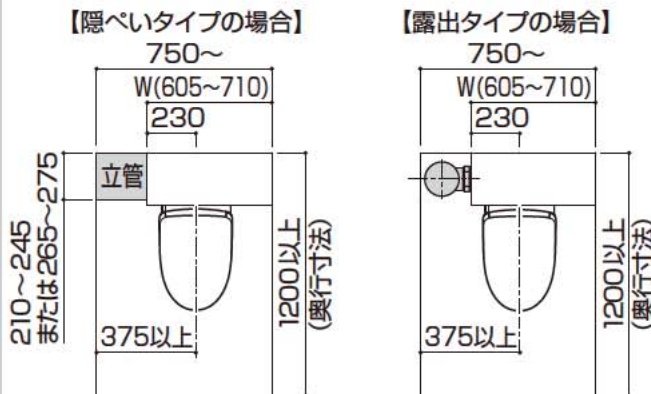
「水漏れ確認」は、本説明書を参照してください。  
「ウォシュレットへの通電」はウォシュレット施工説明書を参照してください。

## 1 設置寸法

トイレの広さは以下の寸法を確保してください。間口750mm未満には対応できません。

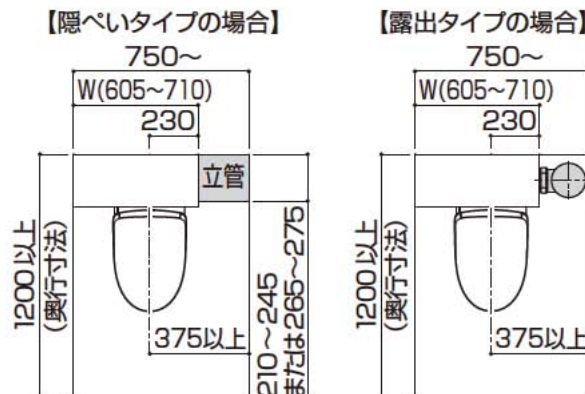


#### 立管対応 左抜き



※246~264mmは設置不可です。  
幅木を曲げて設置することができない範囲のためです。

#### 立管対応 右抜き

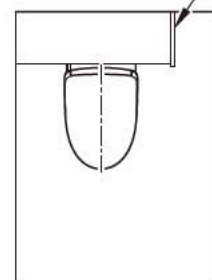


※246~264mmは設置不可です。  
幅木を曲げて設置することができない範囲のためです。

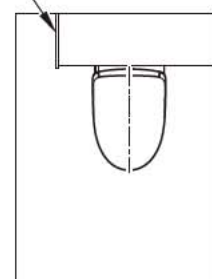
#### エンドパネルを使用する場合

- ・エンドパネルを利用して、壁とすき間を空けて設置することもできます。
- ・左右抜きで排水管が干渉する場合や立管対応タイプの場合は、エンドパネルは使用できません。
- ・両側設置はできません。

#### 【Lタイプの場合】 エンドパネル



#### 【Rタイプの場合】 エンドパネル

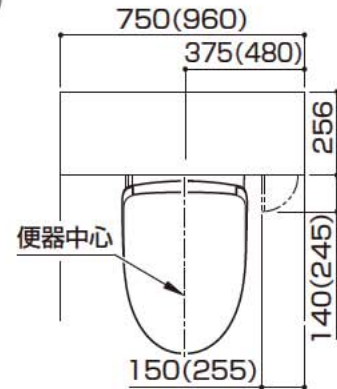


## 2 キャビネット扉の開閉範囲

- ・大便器キャビネットの扉は下図の範囲で開閉します。
- ・開閉範囲内に障がい物がないことを確認してください。

### 大便器キャビネット

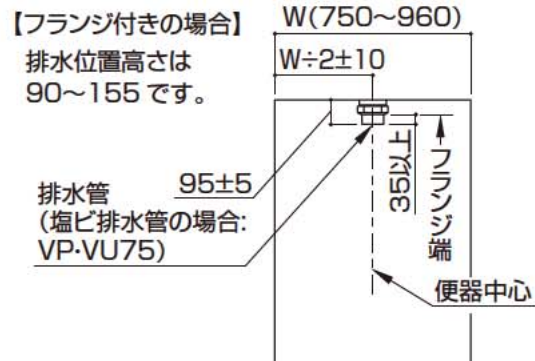
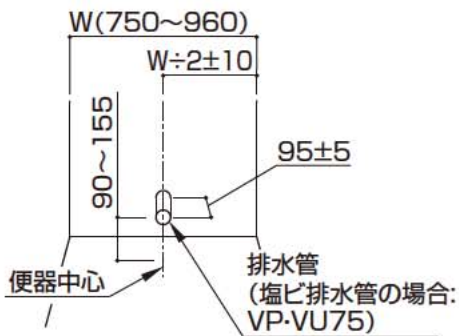
図は間口750mm・960mmで表記  
( )内は間口960mmの場合



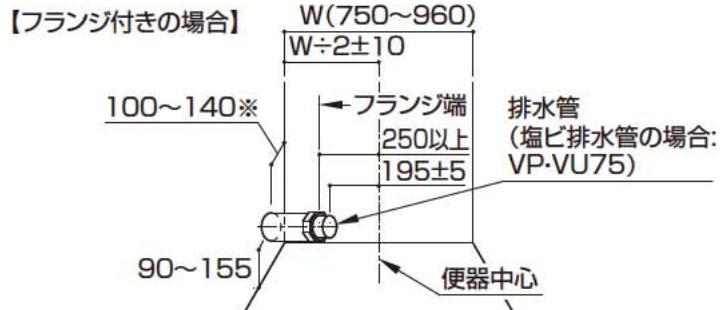
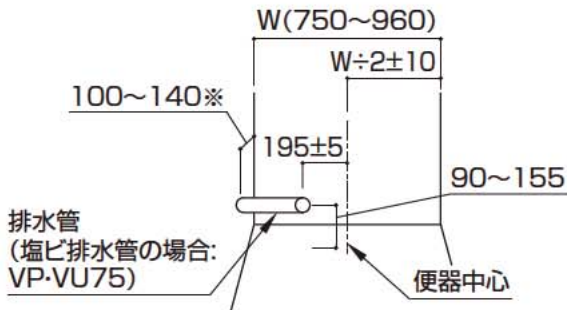
## 3 排水位置

- ・下図の位置に便器の排水心があることを確認してください。
- ・排水勾配は必ず1/50以上確保してください。
- ・便器と排水管はジャバラ管(材質:軟質塩ビ)での接続となります。
- ・VP・VU100(塩ビ排水管)には接続できません。

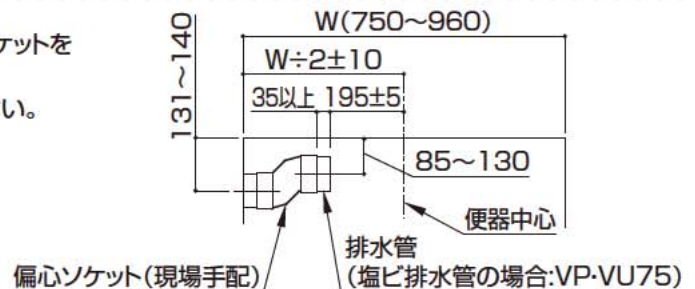
### 後ろ抜きの場合



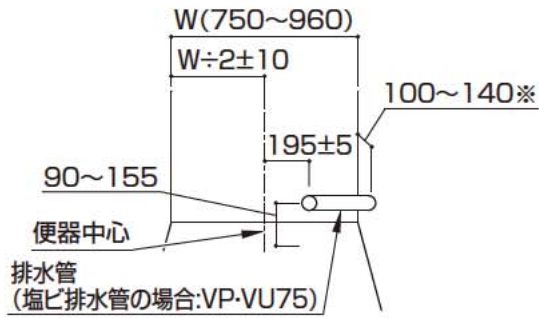
### 左抜きの場合



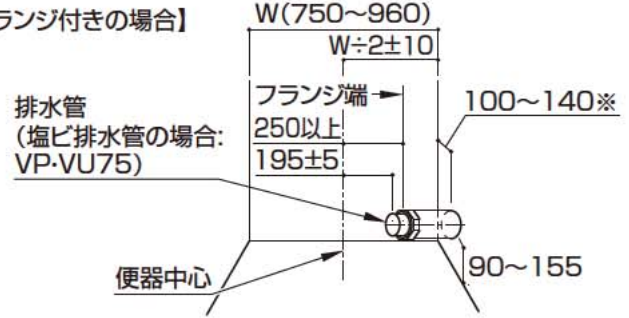
※排水位置が後壁から131~140の場合は、別途偏心ソケットを手配し右図の位置に取り付けてください。  
偏心ソケットは逆勾配にならないように取り付けてください。



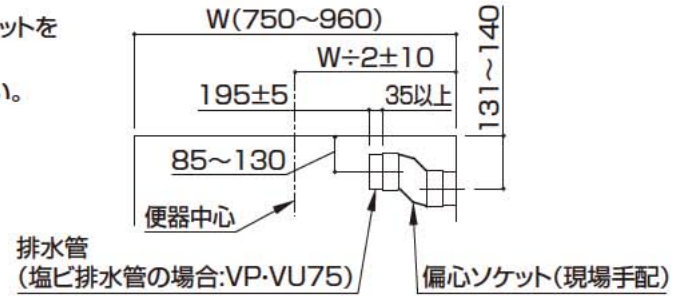
## 右抜きの場合



## 【フランジ付きの場合】

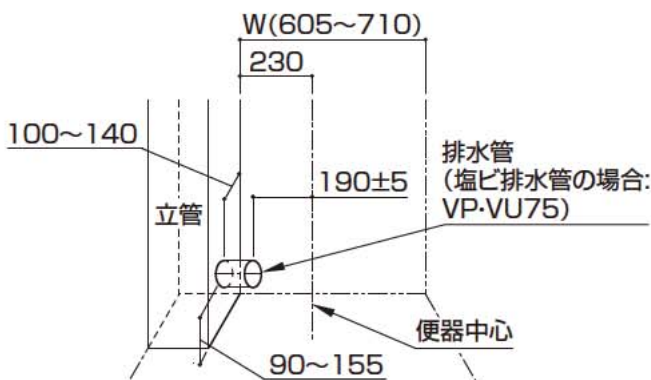


※排水位置が後壁から131~140の場合は、別途偏心ソケットを手配し右図の位置に取り付けてください。  
偏心ソケットは逆勾配にならないように取り付けてください。

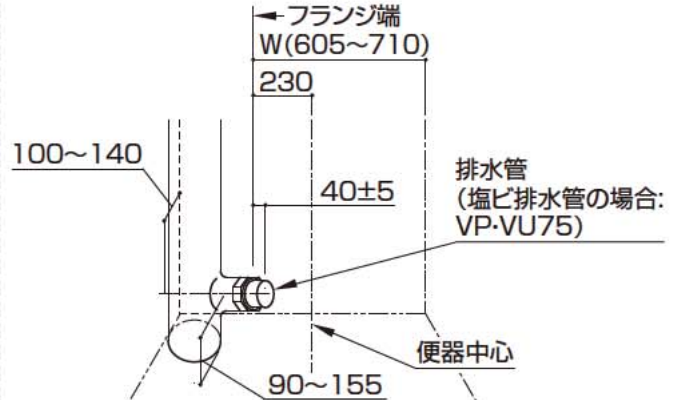


## 立管対応 左抜きの場合

## 【隠ぺいタイプの場合】

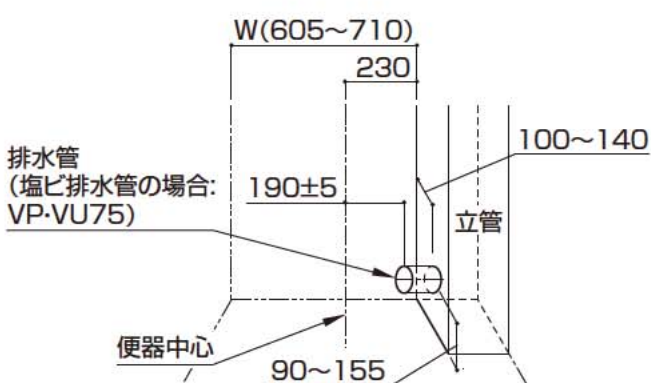


## 【露出タイプの場合】

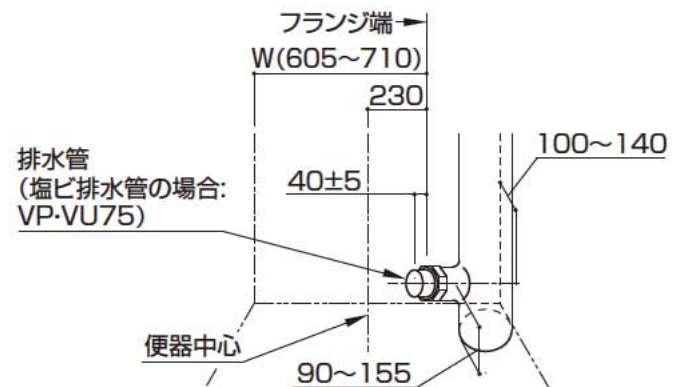


## 立管対応 右抜きの場合

## 【隠ぺいタイプの場合】



## 【露出タイプの場合】



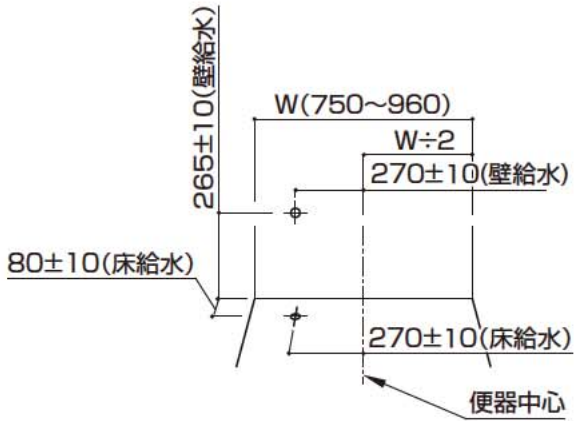


# 4 給水位置

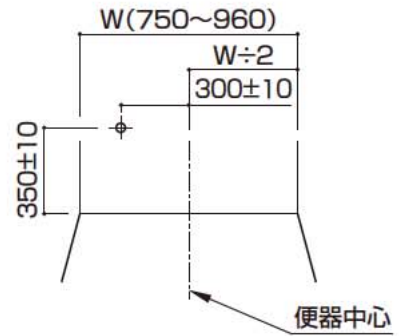
## 給水新設の場合

・ 下図の位置に仕上げ面と同一面に給水管(Rc1/2)を取り出してください。

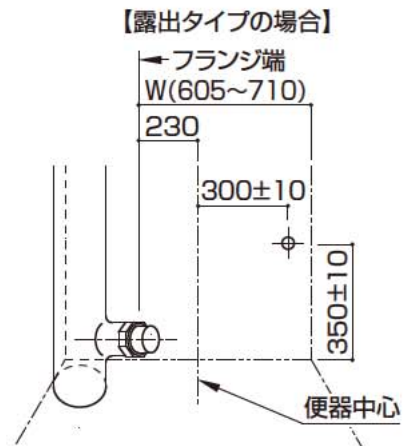
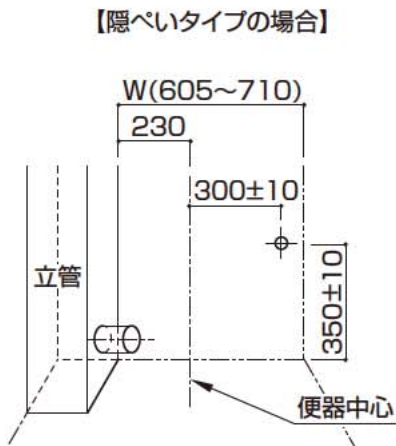
後ろ抜きの場合



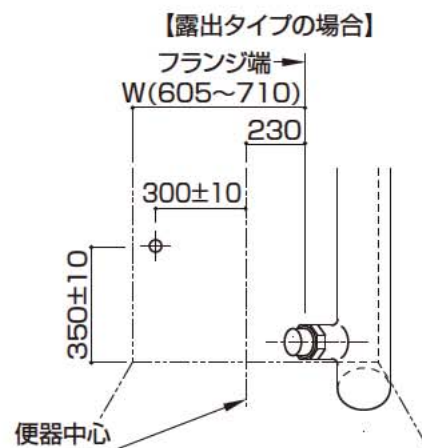
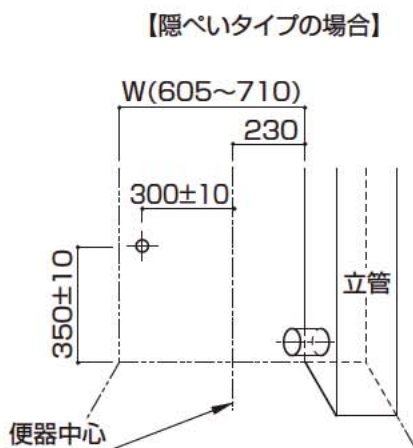
左右抜きの場合



立管対応 左抜きの場合



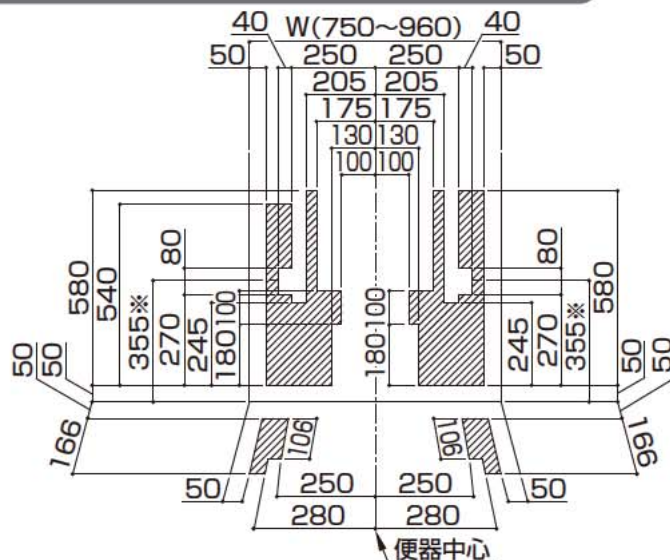
立管対応 右抜きの場合



## 既存給水流用の場合

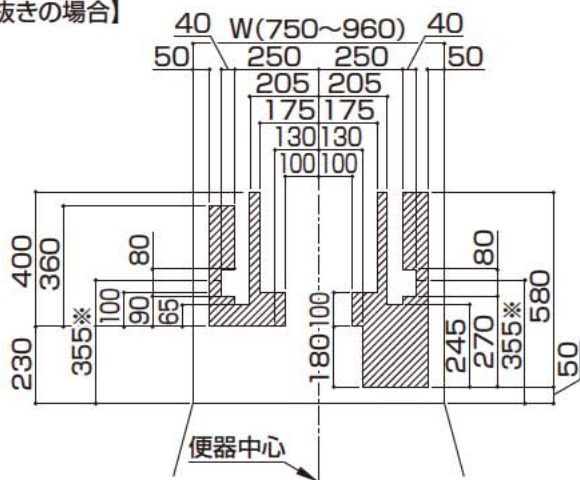
- ・ 下図の領域内が対応範囲となります。対応範囲に給水管の中心があることを確認してください。仕上げ面と同一面に給水管 (Rc 1/2) を取り出してください。
- ・ ※印より上に給水位置がある場合は、棚板が取り付けられません。
- ・ 給水位置が便器中心より右側の場合は、**延長用ホース(UGTN98L2X50RS)** を別途手配してください。

## 後ろ抜きの場合

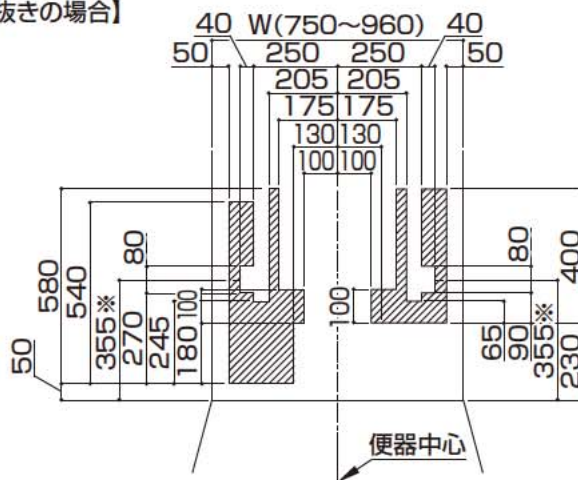


## 左右抜きの場合

## 【左抜きの場合】



## 【右抜きの場合】

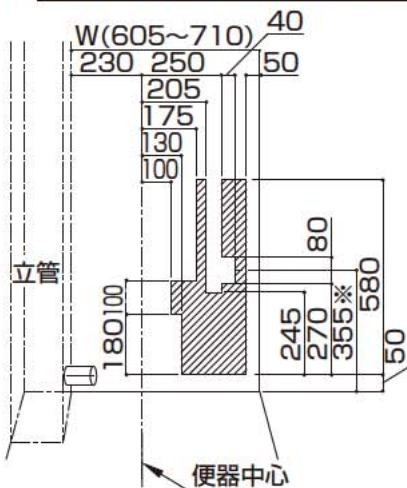


## 立管対応 左右抜きの場合

- ・ 隠ぺい、露出タイプ共通です。
- ・ 立管左抜きの場合は、**ウォシュレット用給水ホース(TCA525)** を別途手配してください。

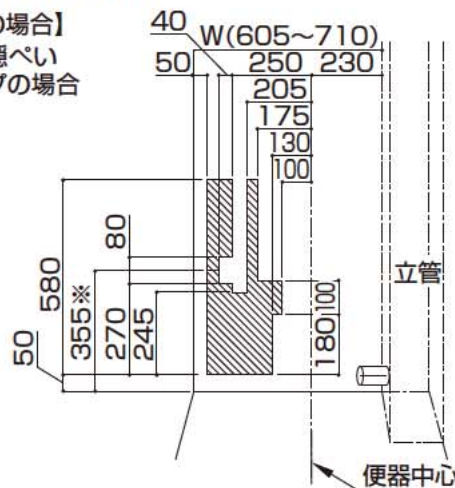
## 【左抜きの場合】

※ 図は隠ぺいタイプの場合



## 【右抜きの場合】

※ 図は隠ぺいタイプの場合



# 5 補強材位置(必ず入れる)

ねじ位置については下記URL内の「ねじ位置情報」をご覧ください。  
 [URL]  
<https://search.toto.jp/contents/navi/construction/eito/kinejichijoho/kinejichijoho.htm>



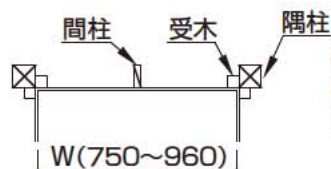
## 大便器キャビネット部

### 後ろ抜き・左右抜きの場合

#### 【後壁について】

##### 壁裏補強なしの場合

・大便器キャビネットを間柱、受木に固定します。



部屋に間柱および受木が所定の位置にあることを確認してください。

#### 【横壁について】

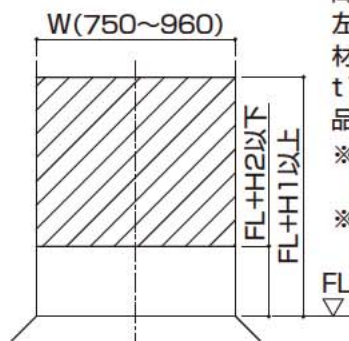
##### 壁裏補強なしの場合

・壁裏補強なしで施工をする場合は、ボードアンカー(オプション:UGA490A)を使用してください。

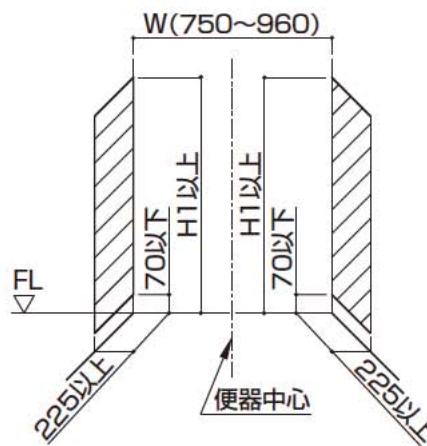
##### 壁裏補強ありの場合

・下図の斜線範囲(壁裏)(周辺部材を設置する場合は取付面)にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。  
 ※周辺部材に関しては各説明書をご参照ください。

##### 壁裏補強ありの場合



間柱および受木がない場合は、左図の斜線範囲(壁裏)(周辺部材を設置する場合は取付面)にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。  
 ※軽量鉄骨(LGS)の場合も同様です。  
 ※周辺部材に関しては各説明書をご参照ください。



タイプ	まるごと収納タイプ		収納タイプ	
	H1	H2	H1	H2
手洗器あり	/		920	200
手洗器なし			1050	200

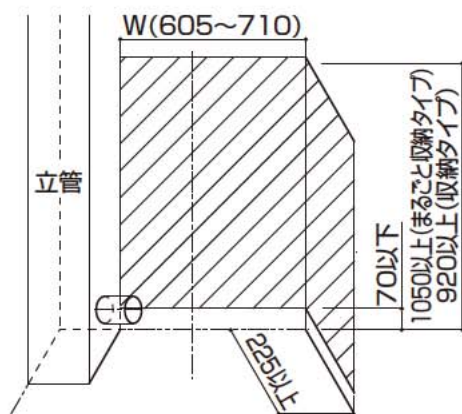
### 立管対応 左抜きの場合

・隠ぺい、露出タイプ共通です。

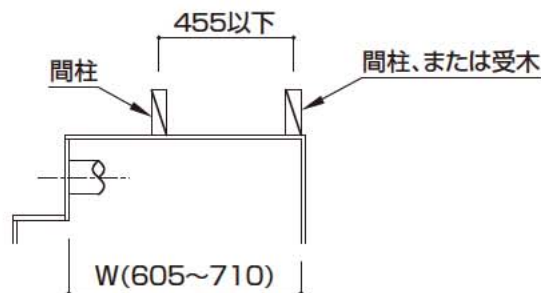
下図の斜線範囲(壁裏)(周辺部材を設置する場合は取付面)にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。

※ 軽量鉄骨(LGS)の場合も同様です。

壁裏補強なしで施工する場合は、下図の位置に柱があることを確認のうえ、ボードアンカー(オプション:UGA490A)を使用してください。



※図は隠ぺいタイプの場合



※図は隠ぺいタイプの場合

2 取付前のご注意

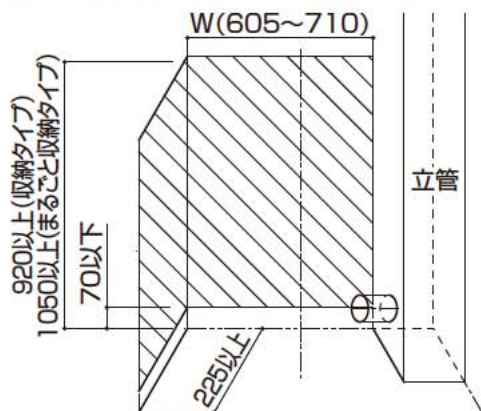
## 立管対応 右抜きの場合

・隠ぺい、露出タイプ共通です。

下図の斜線範囲(壁裏)(周辺部材を設置する場合は取付面)にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。

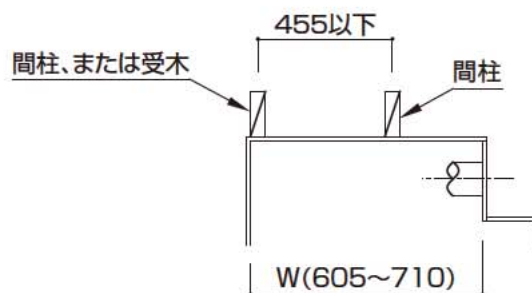
※軽量鉄骨(LGS)の場合も同様です。

※周辺部材に関しては各説明書をご参照ください。



※図は隠ぺいタイプの場合

壁裏補強なしで施工する場合は、下図の位置に柱があることを確認のうえ、ボードアンカー(オプション:UGA490A)を使用してください。

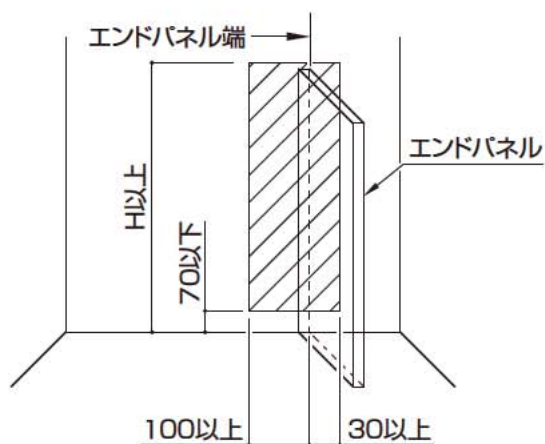


※図は隠ぺいタイプの場合

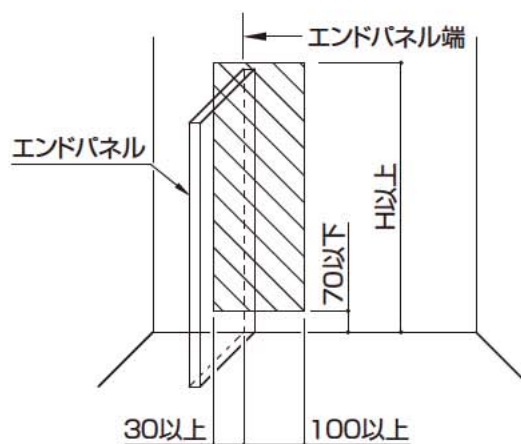
## エンドパネル部

・取付位置に、あらかじめ下図に示す補強が必要です。斜線範囲(壁裏)にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。

## 【Lタイプの場合】



## 【Rタイプの場合】



タイプ	H	
	まるごと収納タイプ	収納タイプ
手洗器あり	1050	920
手洗器なし		920

## 6 電気配線

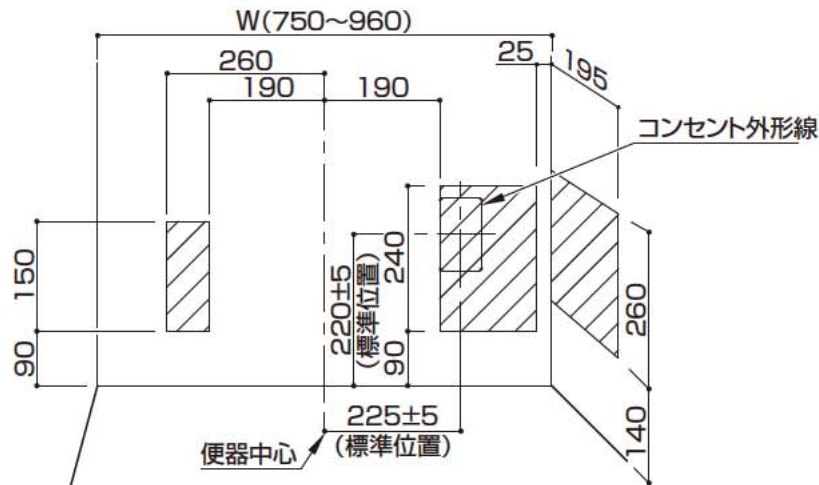
定格消費電力は右表を参照してください。  
(AC100V 50/60Hz共通です。)

定格消費電力	ウォシュレット		
		1277W (F1A/F2A)	1278W (F3A)

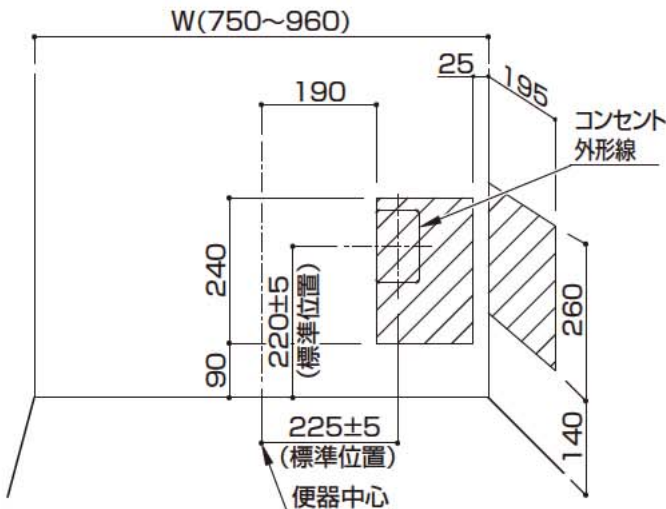
### コンセント設置位置

- ・コンセントは接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式コンセントを設置してください。
- ・既存のコンセントを使用する場合は、下記の斜線範囲内にコンセントの外形が納まることを確認してください。
- ・新規に設置する場合は、下図の「標準位置」に設置してください。
- ・向かって右側にエンドパネルを使用する場合は、横壁のコンセントは使用できません。
- ・コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。
- ・コンセントは給水管の下にならない位置に設置してください。

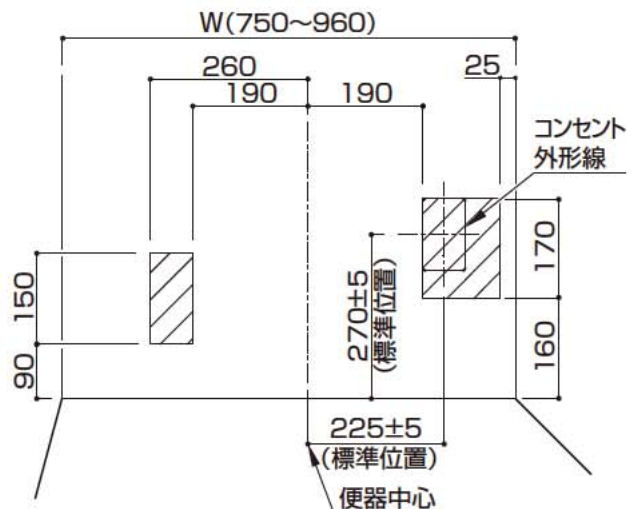
#### 後ろ抜きの場合



#### 左抜きの場合



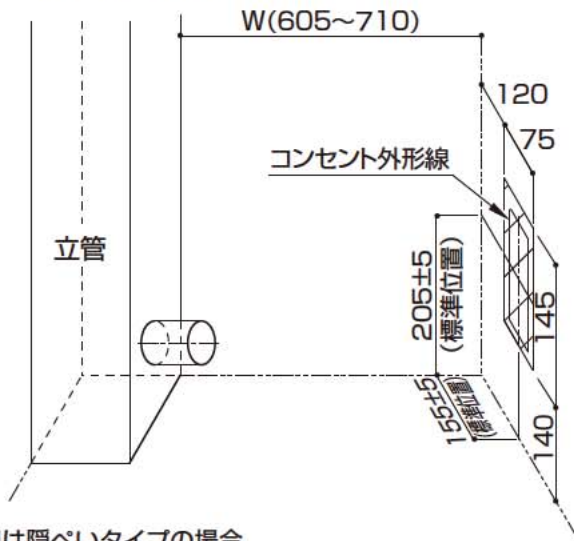
#### 右抜きの場合



MEMO

## 立管対応 左抜き

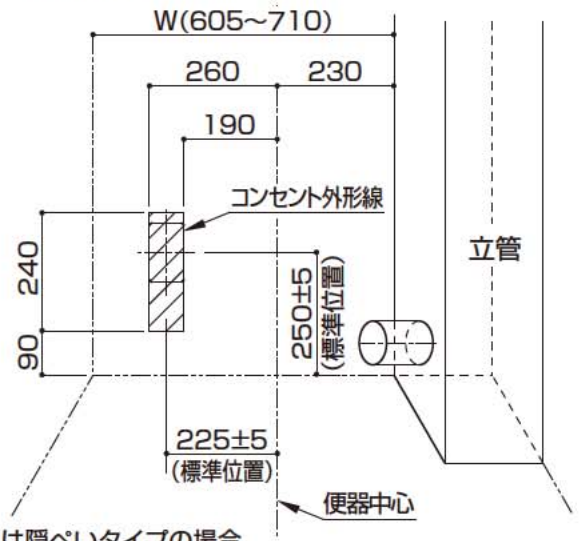
・隠ぺい、露出タイプ共通



※図は隠ぺいタイプの場合

## 立管対応 右抜き

・隠ぺい、露出タイプ共通

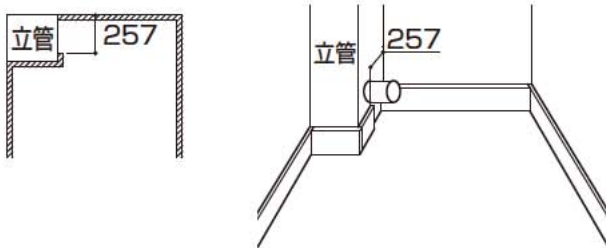


※図は隠ぺいタイプの場合

## 7 幅木

・幅木の大きさは、高さ100mm以下、厚さ10mm以下としてください。

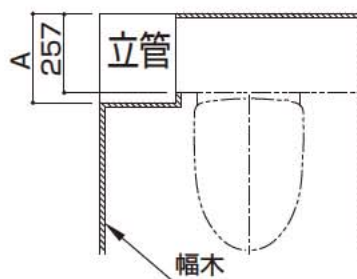
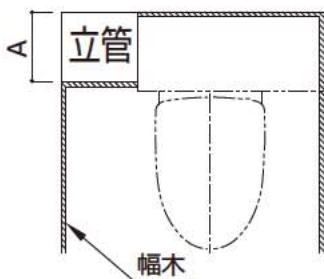
## 立管対応 隠ぺいタイプの場合



## 建築幅木の取り付け

【立管奥行き：A=210~245】

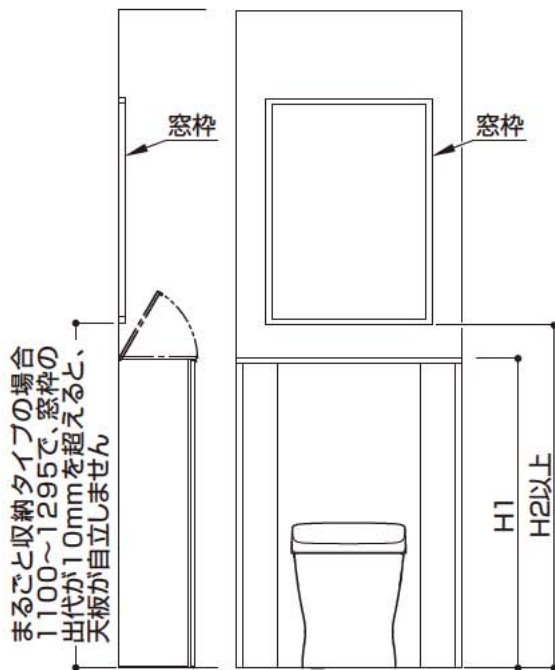
【立管奥行き：A=265~275】



## 8 窓枠など

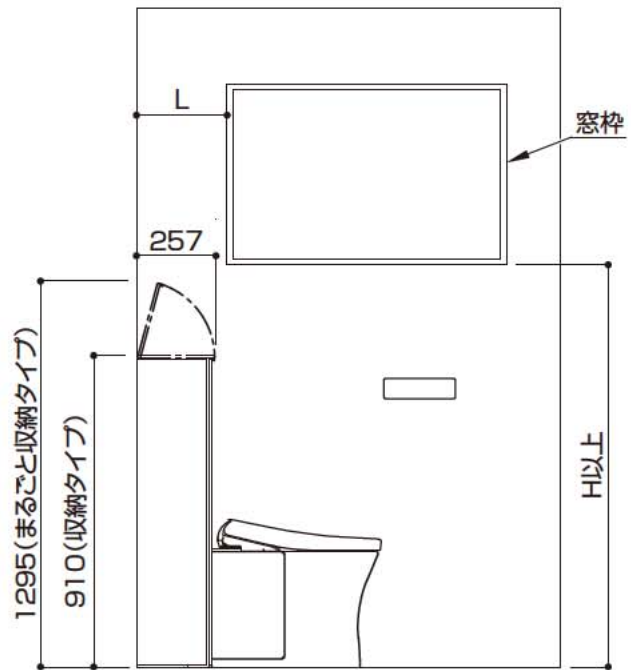
・壁に窓枠や腰壁の笠木などの突起物などがある場合、下図のような制約が付きます。事前に商品と干渉しないよう窓枠の位置を設定してください。

### 大便器後壁に窓がある場合



タイプ	まるごと収納タイプ		収納タイプ	
	H1	H2	H1	H2
手洗器あり	/		910	1020
手洗器なし			1050	1100

### 大便器横壁に窓がある場合



タイプ	まるごと収納タイプ		収納タイプ	
	L=300以上	L=300未満	L=300以上	L=300未満
手洗器あり	/		H	
手洗器なし			—	—

図はまるごと収納タイプの天板の開き方を示しています。

## 9 必要工具

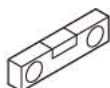
※一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具を用意してください。



電動ドライバー  
・#2ビット(65mm・300mm)  
・#3ビット(200mm)



電動ドリル  
φ3、φ4.5、φ5、φ10



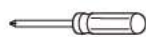
水平器



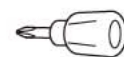
のこぎり



カッター



ドライバー  
#2ビット  
(65mm・200mm)



スタビードライバー  
#2ビット



シリコン系シーラント



ドライバー  
(給水フィルター清掃用)

## 10 壁裏補強材なしの場合のオプション品



ボードアンカー  
(品番:UGA490A 20個入)

※タイプ・現場状況により必要数量が異なります。

# 3. 部品の確認

- ・専用の施工説明書が同梱されている商品は、外装箱のみ表記しています。
- ・包装箱の内容は収納タイプを基本として記載しています。

## コアキャビネットセット

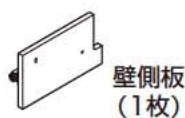
- ※1：立管対応タイプの場合、いずれか片方の壁側板が入っています。
- ※2：立管対応タイプの場合は前板がついておりません。

### 壁側板セット(左)※1



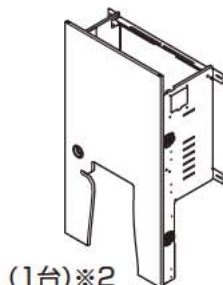
トラスタッピンねじ  
4×40(2本)

### 壁側板セット(右)※1



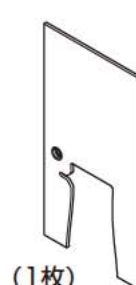
トラスタッピンねじ  
4×40(2本)

### コアキャビネット



(1台)※2

### 前板(立管対応タイプの場合)



(1枚)

### 引き出しラック



(1台)

### 施工説明書



本紙  
(1冊)

ダイジェスト版  
(1枚)

ラベル  
(2枚)

クッション  
(1個)

### 取扱説明書



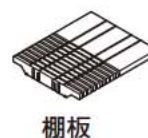
取扱説明書  
(1冊)

開閉工具  
(1個)

### 棚板セット

※タイプにより入数が  
異なります

タイプ	セット数
立管なし	4
立管対応	2

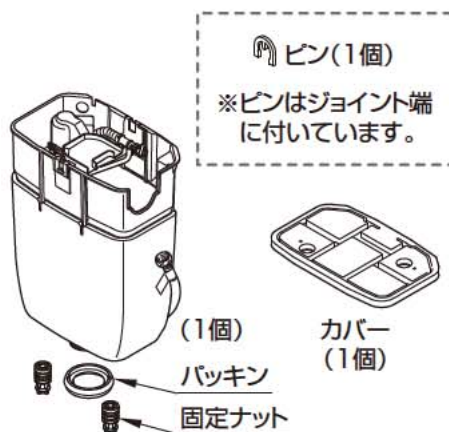


棚板



支持材

### セットタンク



ピン(1個)  
※ピンはジョイント端  
に付いています。

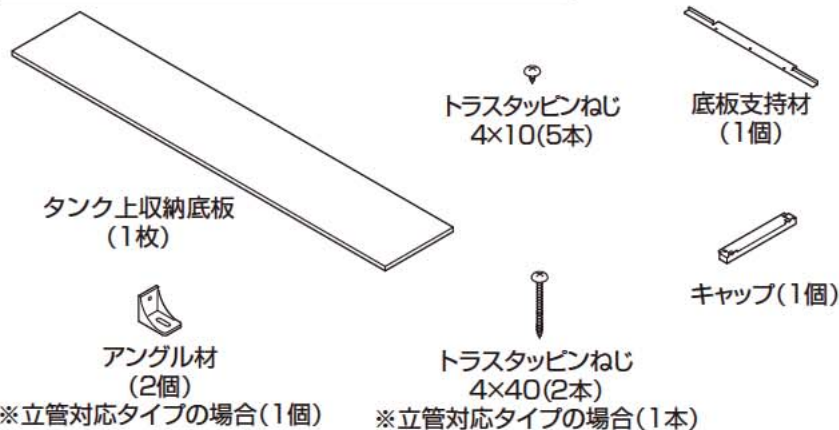
(1個)

カバー  
(1個)

パッキン

固定ナット

### タンク上収納底板セット(まるごと収納タイプの場合)



タンク上収納底板  
(1枚)

アンゲル材  
(2個)

※立管対応タイプの場合(1個)

トラスタッピンねじ  
4×10(5本)

底板支持材  
(1個)

トラスタッピンねじ  
4×40(2本)

※立管対応タイプの場合(1本)

キャップ(1個)

※立管対応タイプの場合、いずれか片方の扉セットが入っています。

### 左扉セット※

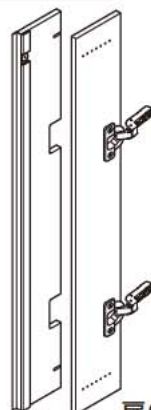


トラスタッピンねじ  
4×20(3本)  
※1本は

「**手順編** 15.仕上げ」で使用します。

扉(1セット)

### 右扉セット※



トラスタッピンねじ  
4×20(3本)  
※1本は

「**手順編** 15.仕上げ」で使用します。

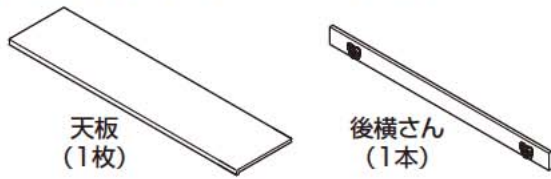
扉(1セット)



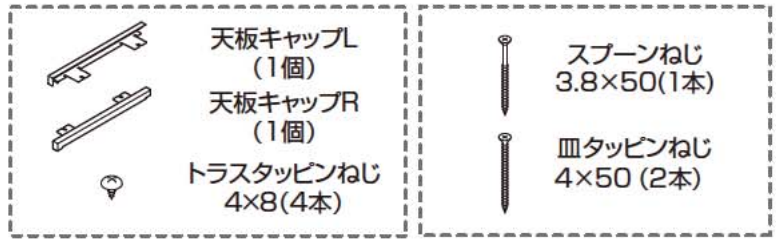
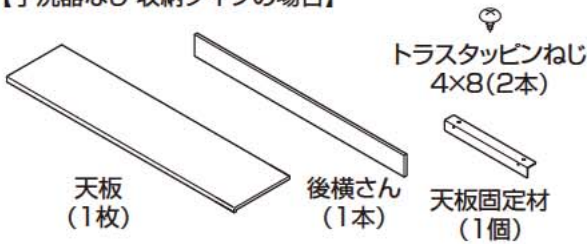
# コアキャビネットセット (つづき)

## 天板セット

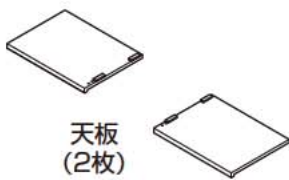
【手洗器なし まるごと収納タイプの場合】



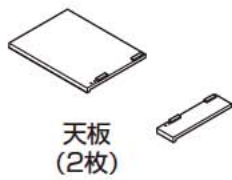
【手洗器なし 収納タイプの場合】



【手洗器ありの場合】



【立管対応タイプの場合】



# その他部材の詰めあわせ

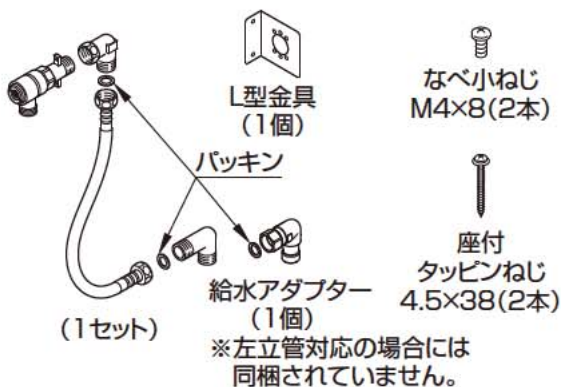
## 止水栓

※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓 (フィルター付き) を取り付けてください。

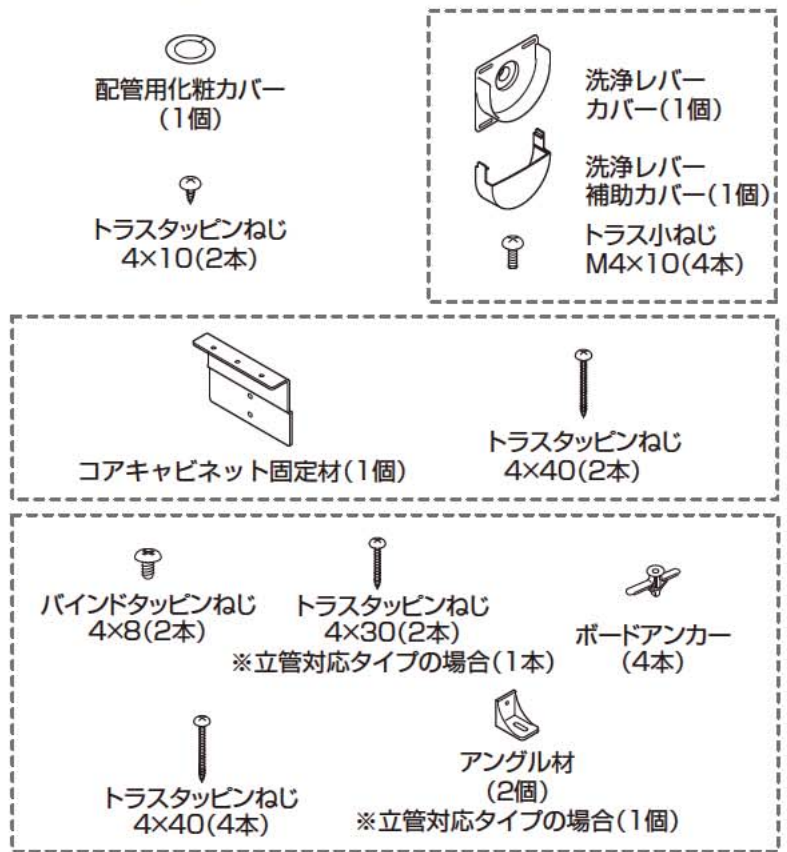
【給水新設用】



【既存給水流用】



## コアキャビネット付属部材セット



## その他部材の詰めあわせ (つづき)

### 排水接続管セット

【後ろ抜きの場合】



排水接続管  
(1個)



ホースバンド  
(2個)

【左右抜きの場合】



排水接続管  
(1個)



ホースバンド  
(2個)

### 天板開閉部材セット(まるごと収納タイプの場合)



皿タッピンねじ  
3.5×14(4本)



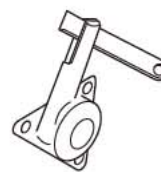
スライド丁番  
(2個)



丁番用スペーサー  
(2個)



トラス小ねじ  
M4×8(5本)



ダンパー 本体  
(1個)

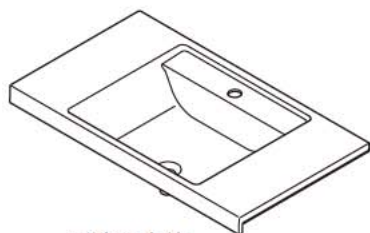


ダンパー 座金  
(1個)



トラス小ねじ  
M4×5(1本)

### 手洗器セット(手洗器ありの場合)



手洗器本体  
(1個)



手洗い金具固定用ナット  
(1個)



バックイン(手洗い金具用)  
(1個)



手洗い金具  
(1個)



排水受け皿  
(1個)

## 商品選択されている場合に入っているもの

### 防振シート



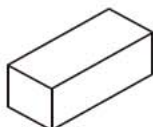
防振シート  
(1個)



ゴムワッシャー  
16×5(4個)

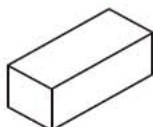
### 紙巻器

【メタル製】



(1箱)

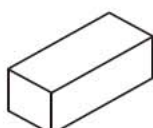
【樹脂製】



(1箱)

### 手すり

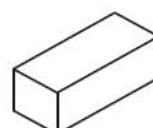
【ハンドグリップ】



(1箱)

### タオル掛け

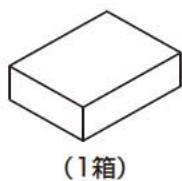
【壁取付タイプ】



(1箱)

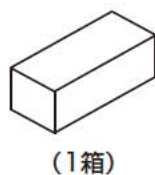
## その他包装

### ウォシュレット

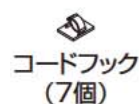
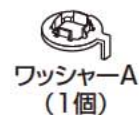


※ウォシュレットの箱の中に入っています。  
「**手順編** 2.止水栓」で使用します。

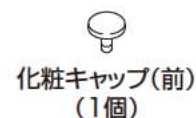
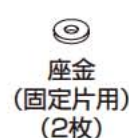
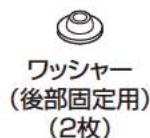
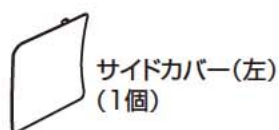
### 便器洗浄ユニット



<下記部品は使用しません>

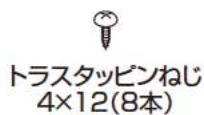


### 大便器



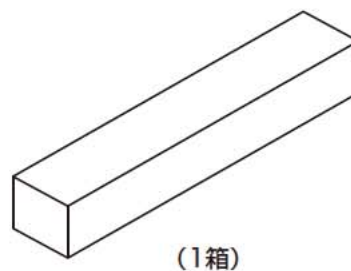
## 商品選択されている場合に入っているもの

### エンドパネル



### 手すり

【インテリア・バー】  
【木製手すり】



# MEMO

# MEMO

## 手順編

0.立管対応タイプの準備・エンドパネル(オプション)	▶22						
1.固定金具	▶24						
2.止水栓	▶25						
3.大便器の仮固定・排水部材	▶27						
4.セットタンク	▶28						
5.コアキャビネット	▶29						
6.後横さん・壁側板	▶32						
7.大便器	▶34						
8.ウォシュレット	▶35						
9.棚板・タンク上収納底板用アングル材	▶38						
10.扉	▶40						
11.試運転・確認	▶42						
12.給水フィルターの清掃	▶46						
	<table><thead><tr><th>手洗器</th><th>あり</th><th>なし</th></tr></thead><tbody><tr><td>13.天板</td><td>▶47</td><td>▶49</td></tr></tbody></table>	手洗器	あり	なし	13.天板	▶47	▶49
手洗器	あり	なし					
13.天板	▶47	▶49					
14.リモコン	▶52						
15.仕上げ	▶52						
引渡し前の点検	▶裏表紙						

# 0.立管対応タイプの準備・エンドパネル(オプション) [立管なしの場合、および、エンドパネルがない場合] P.24「1.固定金具」から作業してください。

**立管対応タイプの場合**

**1 立管対応タイプの準備**

▶P.22

**エンドパネルを使用する場合**

**1 アンクル材の取り付け**

▶P.23

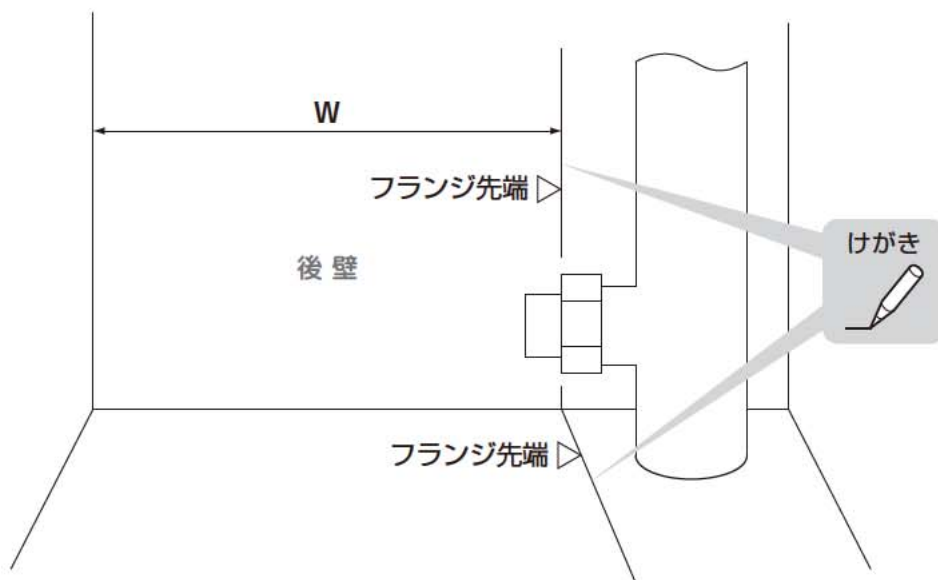
**2 エンドパネルの取り付け**

▶P.23

## 立管対応タイプの場合

### 1 立管対応タイプの準備

【露出タイプの場合】



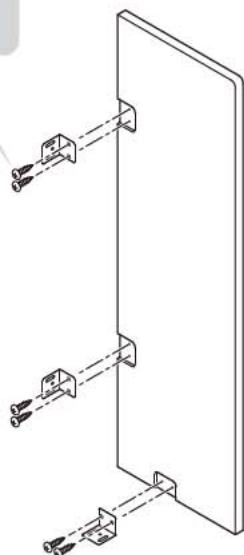
## エンドパネルを使用する場合

## 1 アングル材の取り付け

①

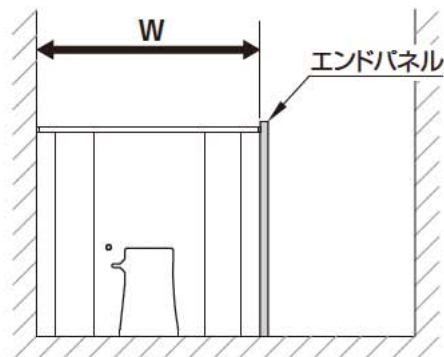
トラスタッピンねじ  
4×12(6本)

手締めで



## 2 エンドパネルの取り付け

## 間口寸法Wの測定範囲

トラスタッピンねじ  
4×30(9本)

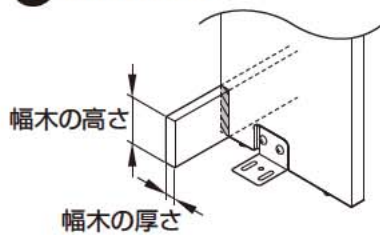
②

けがき → 下穴

間口寸法W  
18

【幅木がある場合】

① 幅木分カット



③

MEMO

給水新設

既存給水流用

# 1. 固定金具

## 1 固定金具の取り付け

①

※【壁裏補強なしの場合】

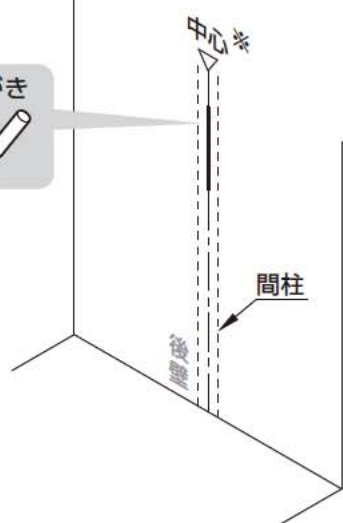
間柱中心

【壁裏補強ありの場合】

立管なしの場合:間口中心

立管対応の場合:便器中心 ※1

けがき

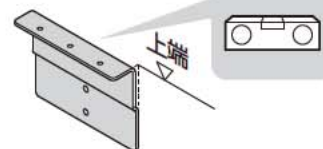


注意

固定金具の水平が出ていないと、キャビネット全体が傾き、扉の開閉ができなくなる可能性があります

② 上端の高さをあわせる

水平確認



③

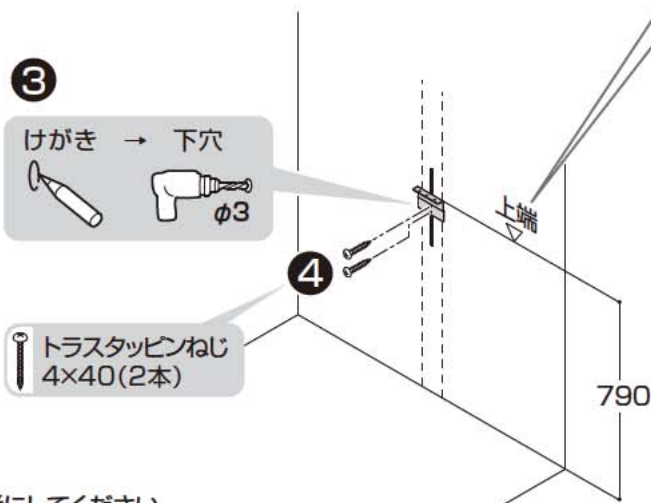
けがき → 下穴



φ3

トラスタッピンねじ  
4×40(2本)

④



※1 便器中心位置はP.9 給水位置の図を参考にしてください。

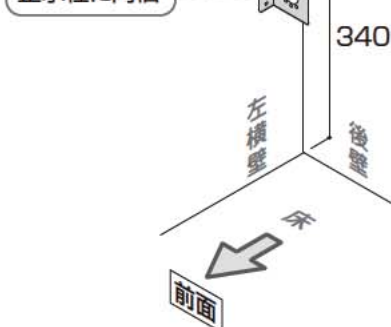
既存給水流用の場合

①

けがき → 下穴※



止水栓に同梱



※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー  
(オプション)

φ10



排水方向	A
後ろ抜き	85
右抜き	
左抜き	170
立管が右側の場合	85
立管が左側の場合※	

※取付位置は右壁です。

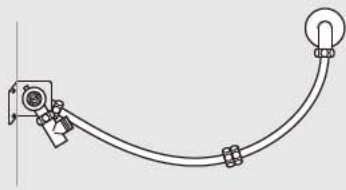


# 2. 止水栓

【給水新設】タイプと【既存給水流用】タイプで施工方法が異なります。商品タイプをご確認のうえ、作業を進めてください。

## 1 止水栓・分岐金具の取り付け

【既存給水流用の場合】



給水新設

▶ P.25

給水流用  
既存

▶ P.26

## 給水新設

### 1 止水栓・分岐金具の取り付け

## 注意

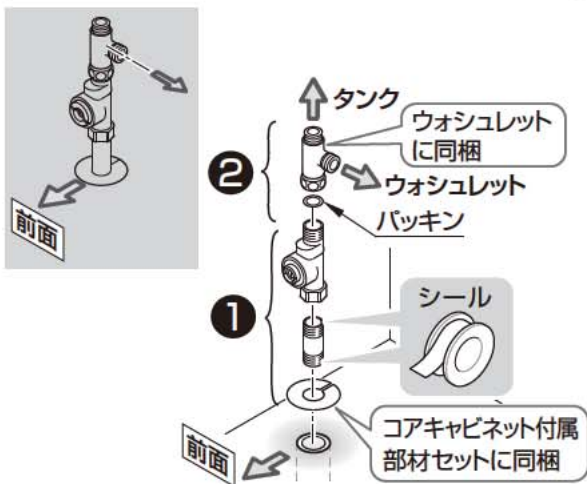


必ず守る

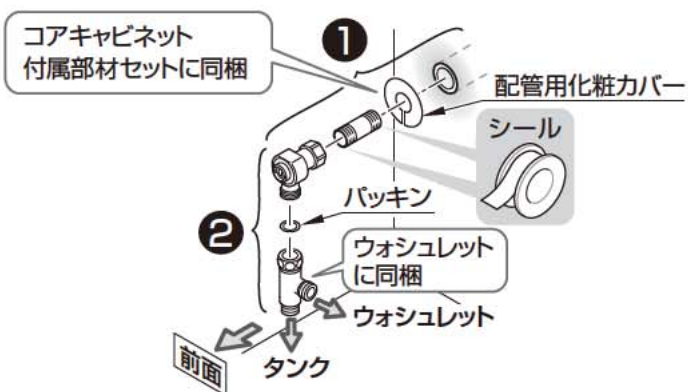
止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付ける

設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

### 床給水



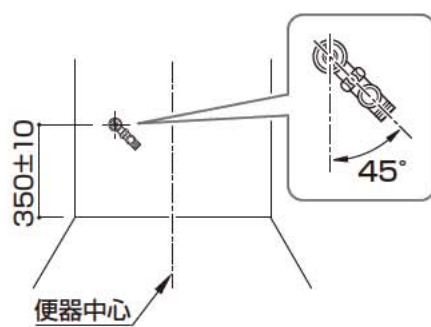
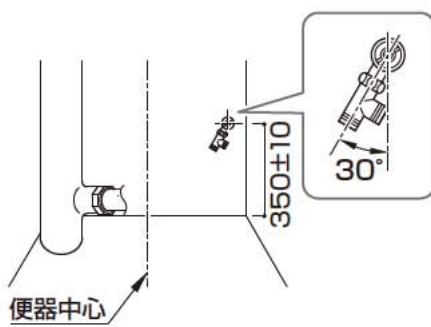
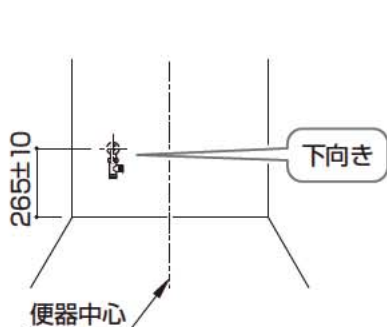
### 壁給水



【壁排水 後ろ抜きの場合】

【左立管対応の場合】

【左右抜き/右立管対応の場合】



給水新設

既存給水流用

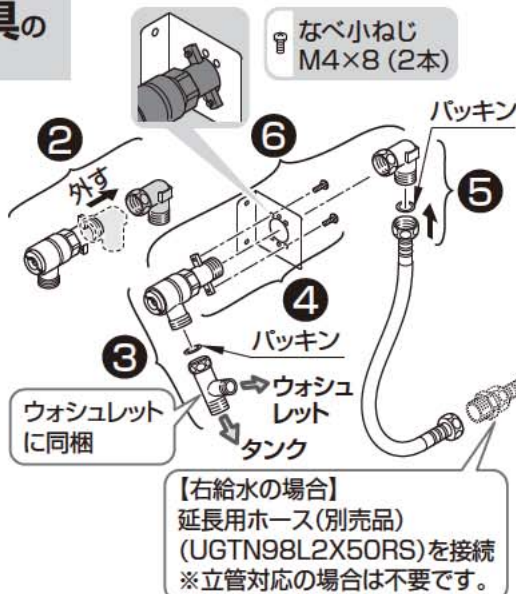
## 既存給水流用

1 止水栓、分岐金具の  
取り付け

1

床給水

壁給水



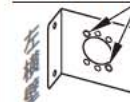
## ! 注意

止水栓は必ず商品同梱の  
専用止水栓(フィルター  
付き)を取り付ける

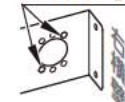
設置しただけの場合、フィル  
ターがないため給水管内の異物  
が除去されず、ゴミかみや異物  
詰まりによる止水・吐水不良を  
起こすおそれがあります。



この穴を使う



この穴を使う



7

座付タッピンねじ  
4.5×38(2本)

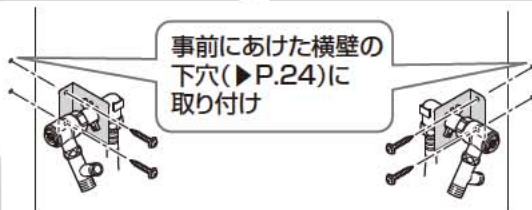
左壁の場合

右壁の場合

【エンドパネルに壁側板を  
取り付けている場合】

必ず使用

「エンドパネル」に同梱

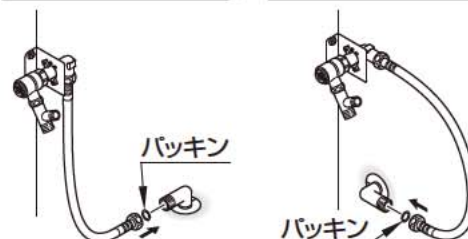
トラスタッピンねじ  
4×12(2本)

8

※給水ホースの取り回しは下欄参照

床給水

壁給水



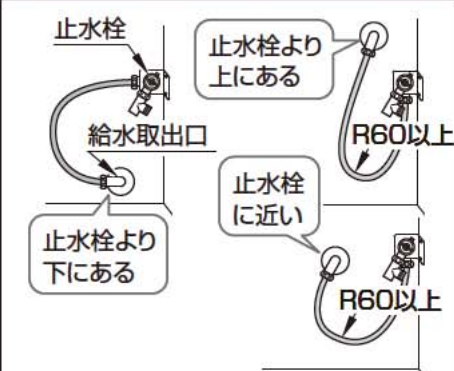
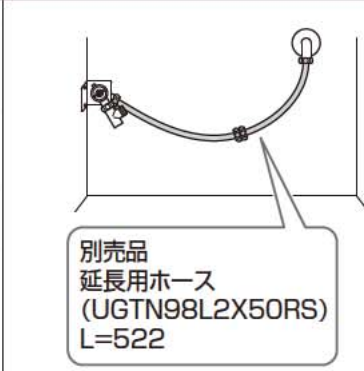
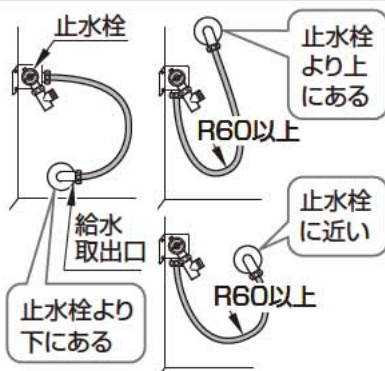
## 給水ホースの取り回し

左給水

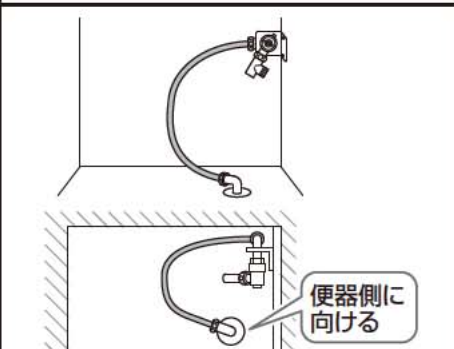
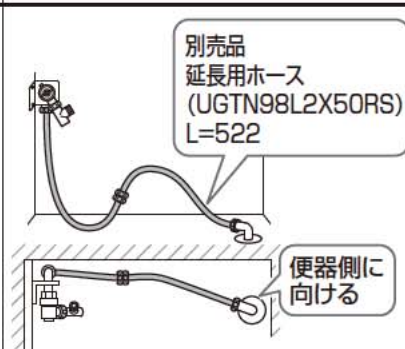
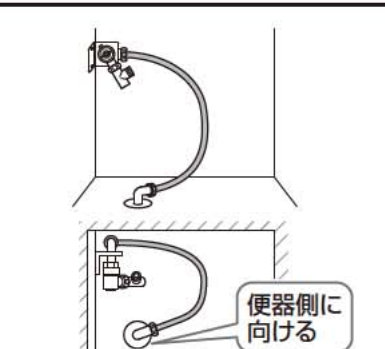
右給水

右給水で立管が左にある場合

壁給水



床給水



# 3.大便器の仮固定・排水部材

## 1 大便器の仮固定



▶P.27

## 2 排水接続管の取り付け、接続



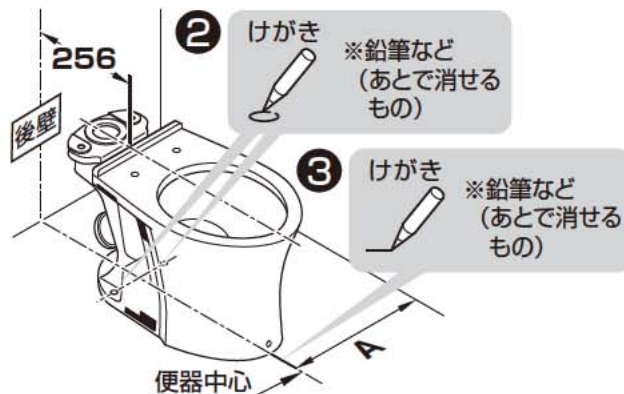
▶P.27

## 1 大便器の仮固定

1 図の位置に便器を仮置きする

### ポイント

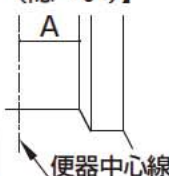
便器中心線と間口中心が一致するように注意する。一致しないと便器と前板パネルにすき間ができます。



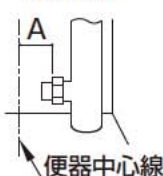
【立管がない場合】



【立管対応(隠ぺい)】



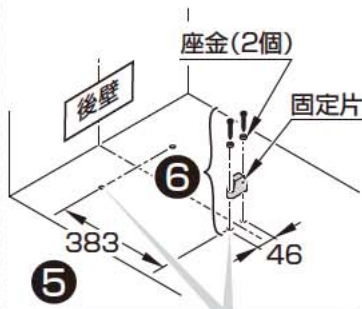
【立管対応(露出)】



	A
立管がない場合	間口中心
立管対応(隠ぺい)	230
立管対応(露出)	

4 便器をいったん外す

なべタッピンねじ 6×50(2本)



5

けがき → 下穴

便器固定穴：2カ所  
固定片取付穴：2カ所

## 2 排水接続管の取り付け、接続

1

後ろ抜きの場合

左右抜きの場合



### 注意



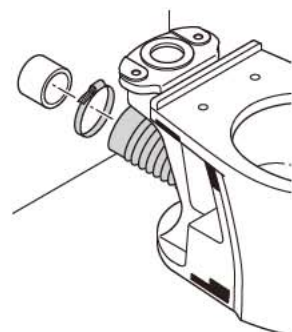
ホースバンドは、電動ドライバーで締め付けない排水接続管にしわがよったり破れたりして、水漏れし、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

### 注意



排水管の高さにあわせて適切な角度で排水接続管を接続する  
必ず守る 排水の勾配が確保できないおそれがあります。

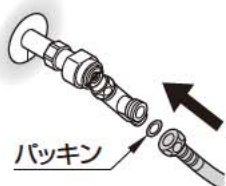
2 便器を仮置きし、排水管(設備側)に接続する



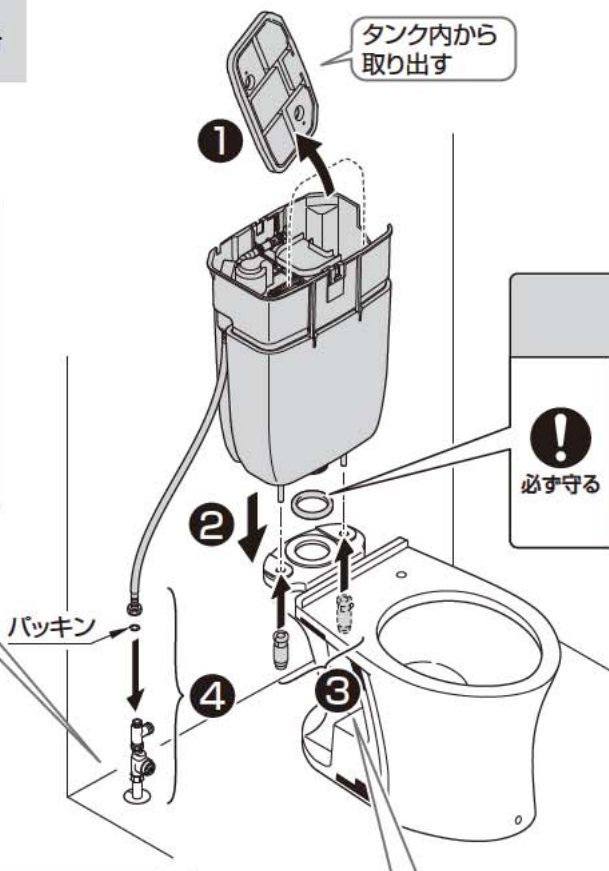
# 4. セットタンク

## 1 セットタンクの取り付け

【壁給水の場合】



パッキン



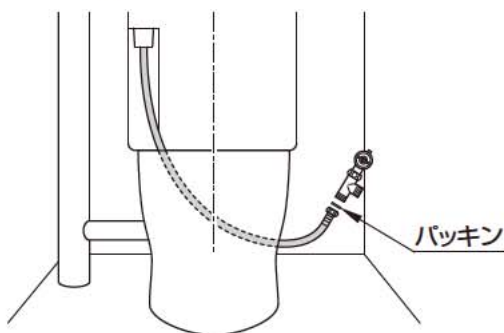
**!** 注意

**!**  
必ず守る

パッキンがセットされていることを確認する  
水漏れして家財などをぬらす  
財産損害発生の原因となります。

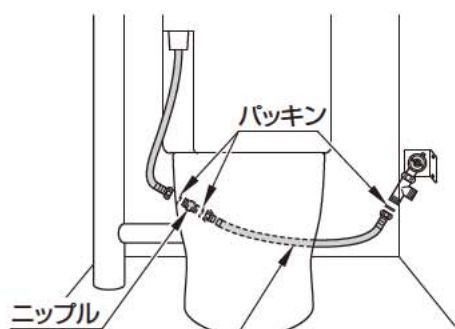
立管が左にある場合

給水新設の場合



パッキン

既存給水流用の場合



ニップル

別売品 延長用ホース  
(UGTN98L2X50RS)

固定ナットの取り付けかた

**!** 注意

**!**  
必ず守る

左右の固定ナットを確実に締める  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

固定ナットを締め付けるときは必ず  
手で行う  
工具を使用すると破損するおそれがあります。

固定ナットを手締めで  
かたく締め付ける。



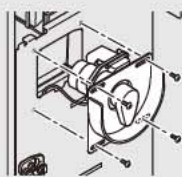
# 5.コアキャビネット

## 1 コアキャビネットの設置



▶P.29

## 2 洗淨レバーの取り付け



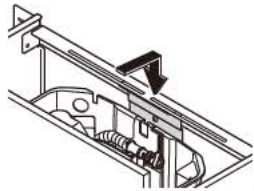
▶P.31

## 1 コアキャビネットの設置

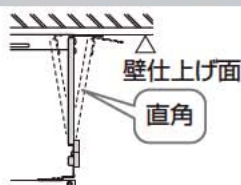
立管対応タイプを除く

※タイプにより、コアキャビネットの形状が異なります。

### 1 引っ掛ける



### 注意

ねじ固定時に側板が  
曲がらないようにすること

### 3

 バインドタッピンねじ  
4×8(2本)

### 4 水平確認



### 5

けがき → 下穴※

トラスタッピンねじ  
4×40(4本)

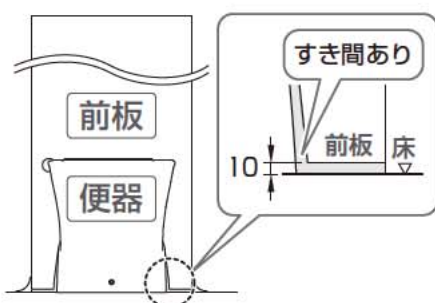
※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー

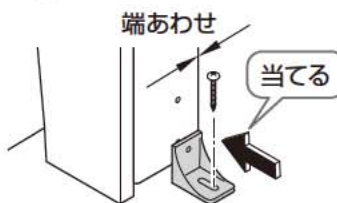


### 2 すき間を左右均等

床から浮く



### 6 アンガル材を側板に当て、床に固定(側板への固定は不要) (左右2カ所)



### 注意

側板へ固定しない

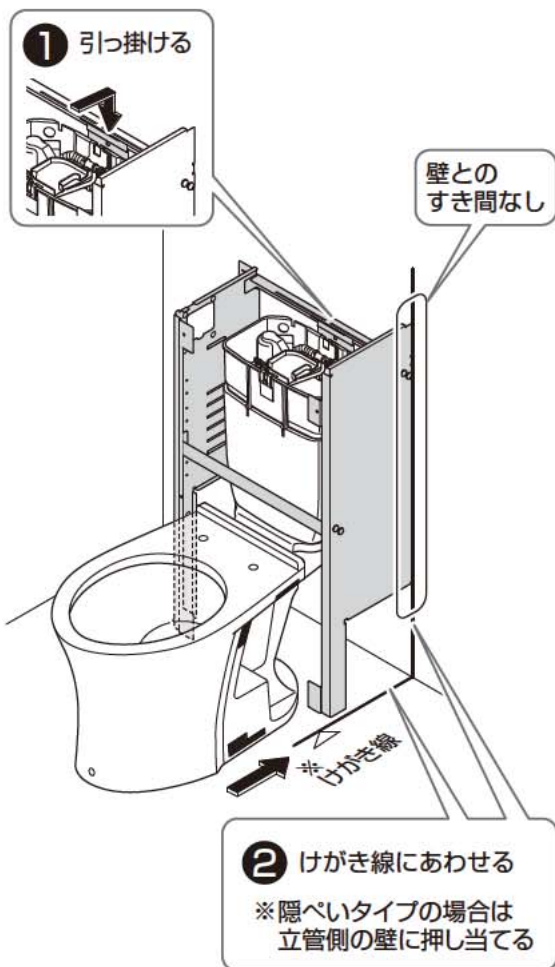


けがき → 下穴

トラスタッピンねじ  
4×30(2本)

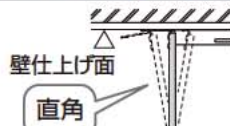
## 立管対応タイプの場合

※タイプにより、コアキャビネットの形状が異なります。



## 注意

ねじ固定時に側板が曲がらないようにすること

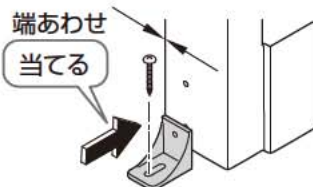
**3**バインドタッピンねじ  
4×8(2本)**4**

けがき → 下穴※

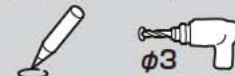
トラスタッピンねじ  
4×40(4本)

※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー

**5** アンゲル材を側板に当て、床に固定(側板への固定は不要)  
(1カ所)

けがき → 下穴

トラスタッピンねじ  
4×30(1本)

## 注意

側板へ固定しない



MEMO

## 2 洗浄レバーの取り付け

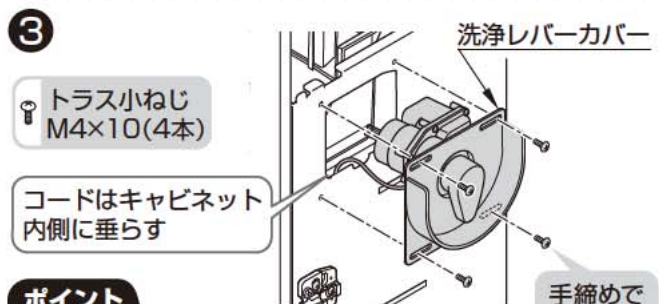
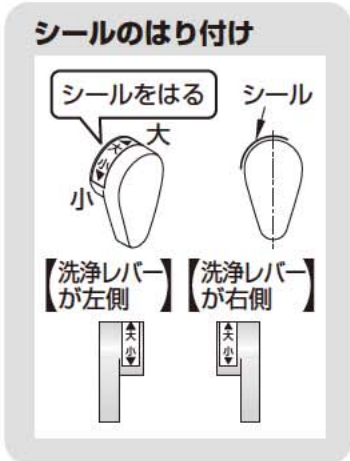
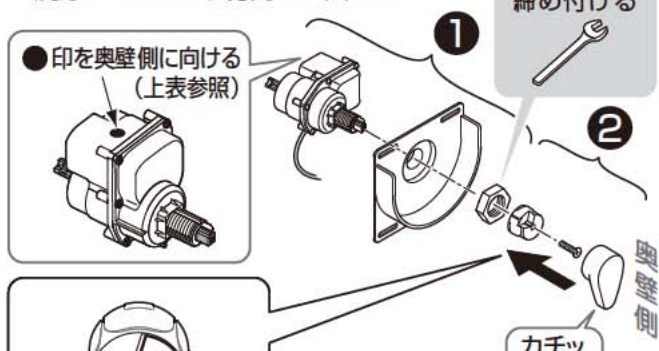
※便器洗浄ユニットに同梱の説明書とは、取付向きが異なります。ワッシャーA、ワッシャーBは使用しません。

	洗浄レバー 取付位置	洗浄ユニット ●印の向き
立管がない場合	右側	奥壁側
立管が左にある場合	右側	奥壁側
立管が右にある場合	左側	手前側

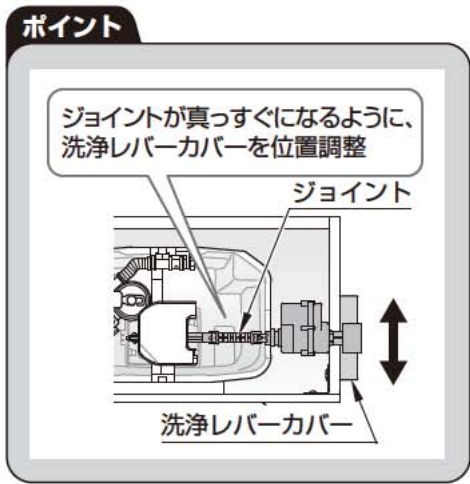
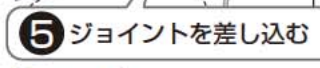
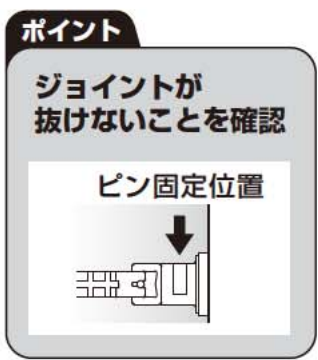
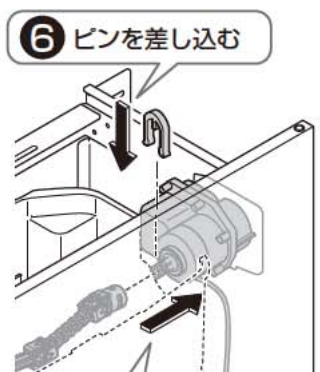
※図は右側に取付けた場合

※洗浄レバー取付位置により

洗浄ユニットの取付向きが異なります。

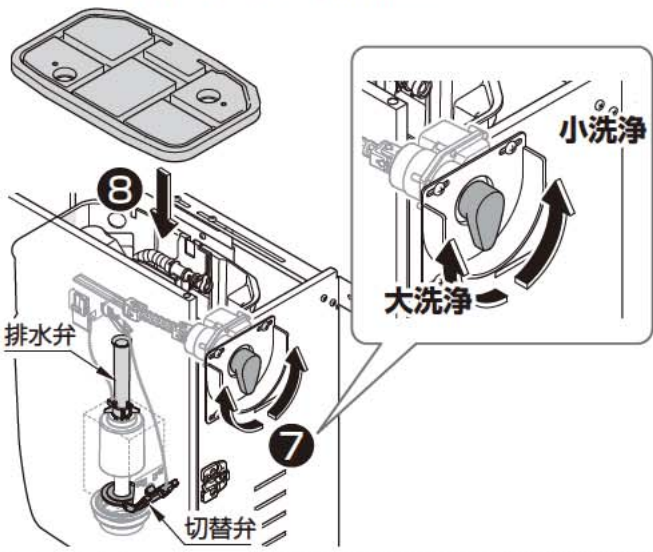


## 4 ジョイントからピンを取り外す

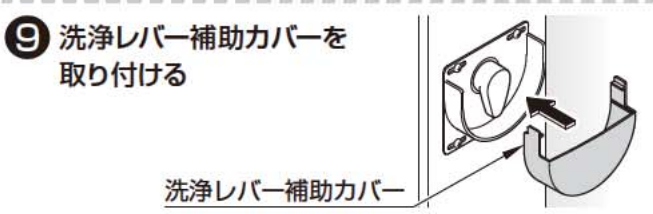


## 7 作動確認

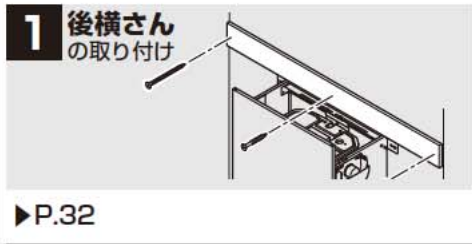
- レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること
- 「大」側に回し、排水弁のみが引き上がること
- 「小」側に回し、排水弁・切替弁が引き上がること
- 洗浄後、レバーが正規の位置に戻ることを確認



## 9 洗浄レバー補助カバーを取り付ける

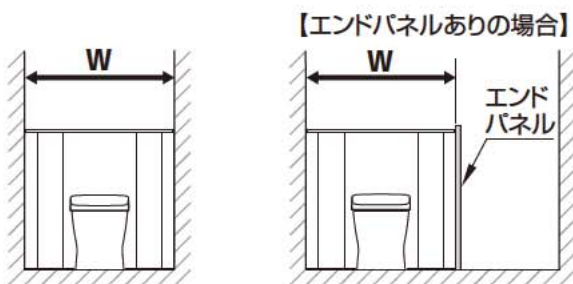


# 6. 後横さん・壁側板



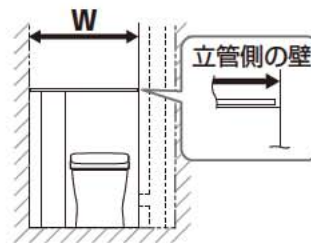
## 1 後横さんの取り付け

### 間口寸法Wの測定範囲



#### 立管対応タイプの場合

##### 【隠ぺいタイプの場合】



##### 【露出タイプの場合】



### 1 後横さんカット・穴あけ

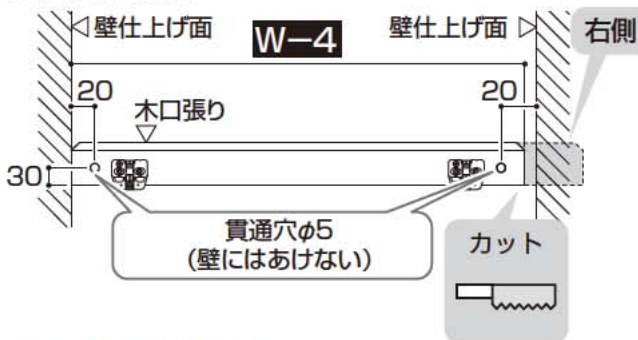
#### ポイント

チッピングに  
注意!



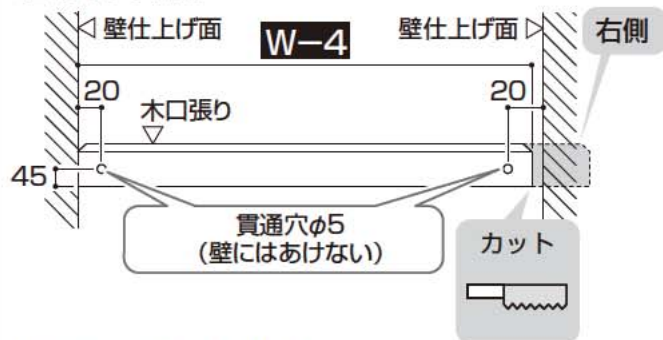
#### まるごと収納タイプの場合

##### 【立管なしの場合】



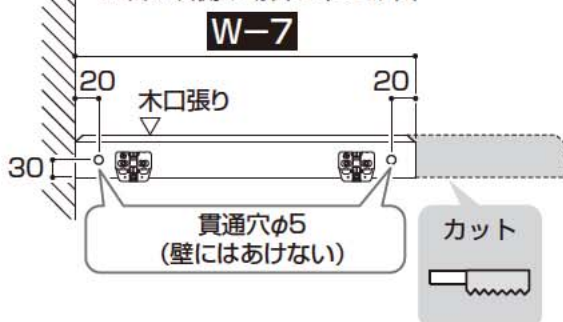
#### 収納タイプの場合

##### 【立管なしの場合】



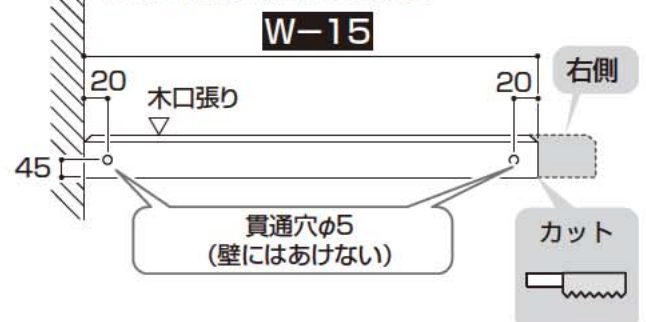
##### 【立管対応タイプの場合】

立管が左側の場合:コアキャビネット側板内面  
立管が右側の場合:壁仕上げ面



##### 【立管対応タイプの場合】

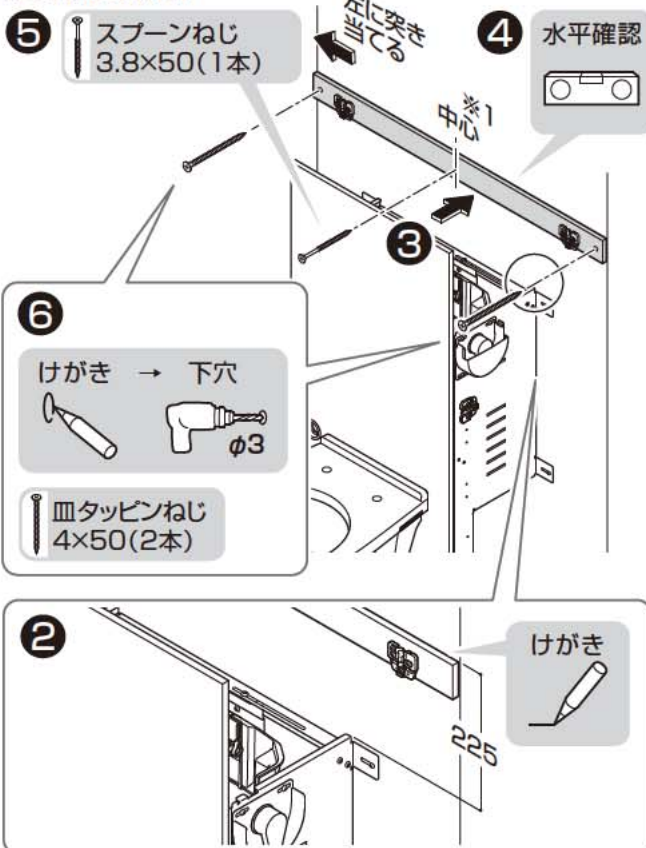
立管が左側の場合:コアキャビネット側板内面  
立管が右側の場合:壁仕上げ面





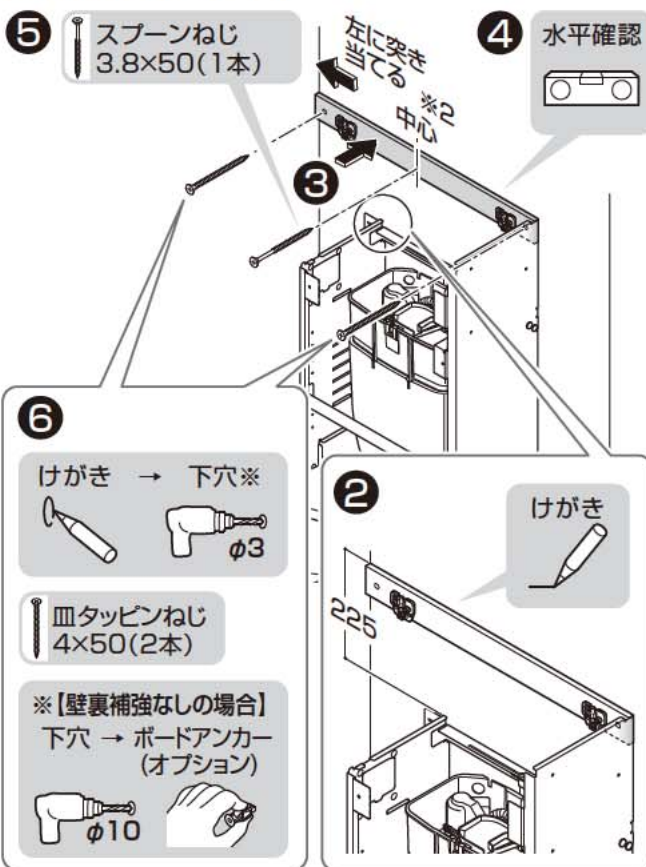
まるごと収納タイプの場合

【立管なしの場合】



※1 壁裏補強なしの場合は間柱中心

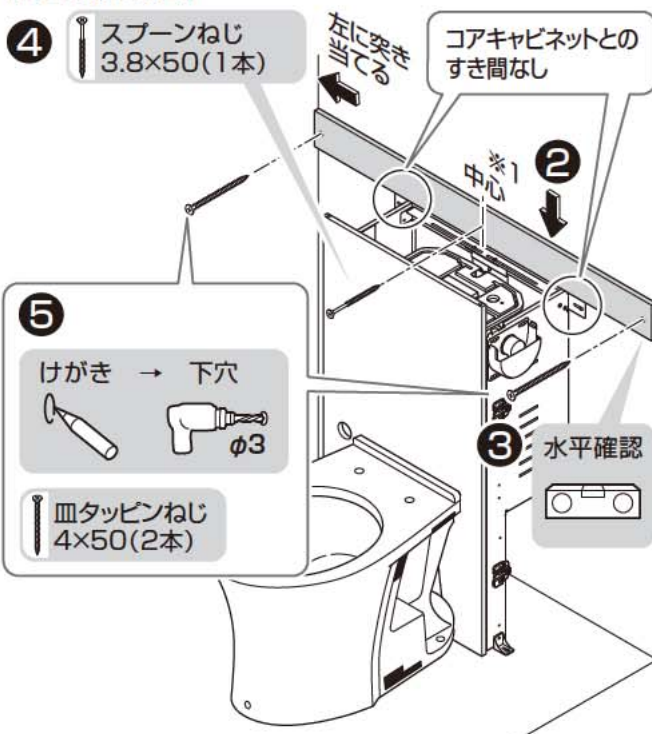
【立管対応タイプの場合】



※図は立管が右側の場合  
※2 大便器中心(壁裏補強なしの場合は間柱中心)

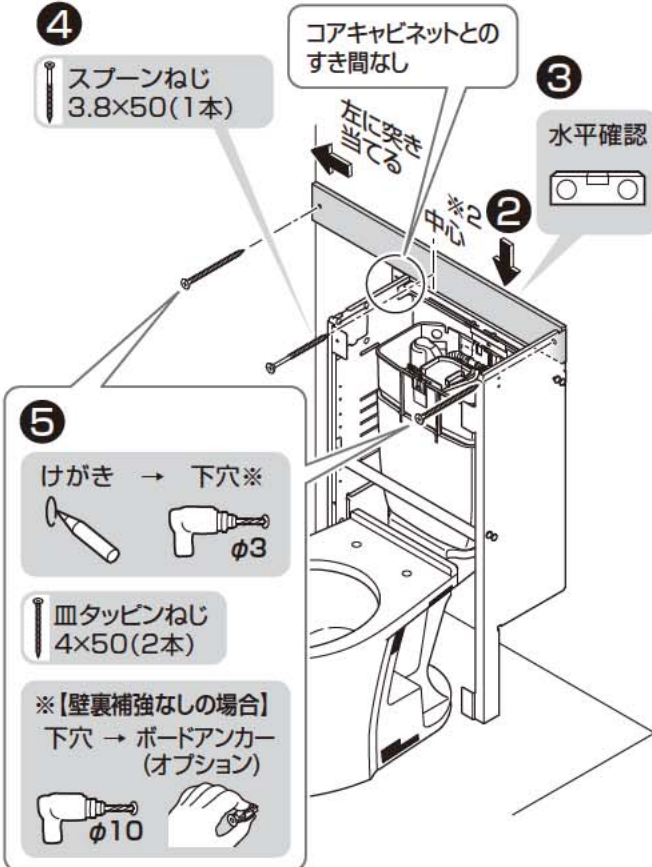
収納タイプの場合

【立管なしの場合】



※図は立管が右側の場合  
※1 壁裏補強なしの場合は間柱中心

【立管対応タイプの場合】



※図は立管が右側の場合  
※2 大便器中心(壁裏補強なしの場合は間柱中心)

## 2 壁側板の取り付け

② 壁に  
突き当てる

水平確認



① 後横さんに  
突き当てる

③

けがき → 下穴※



トラスタッピンねじ  
4×40(4本)

※【壁裏補強なしの場合】  
下穴 → ボードアンカー  
(オプション)



エンドパネルの場合

必ず使用

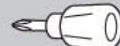
「エンドパネル」に同梱  
トラス小ねじ  
M4×18(2本)

立管対応タイプの場合

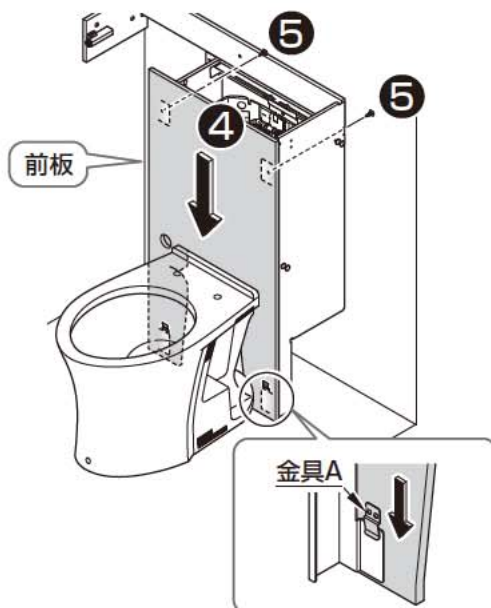
ポイント

便器を少し前に出しておく

スタビードライバーで  
行う



トラスタッピンねじ  
4×10(2本)



## 7.大便器

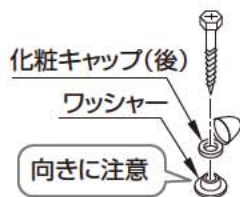
### 1 大便器の固定

注意

最後の締め増しは、手締めにより行い、  
大便器を割らないように注意すること

注意

締め過ぎて便器を割らないこと

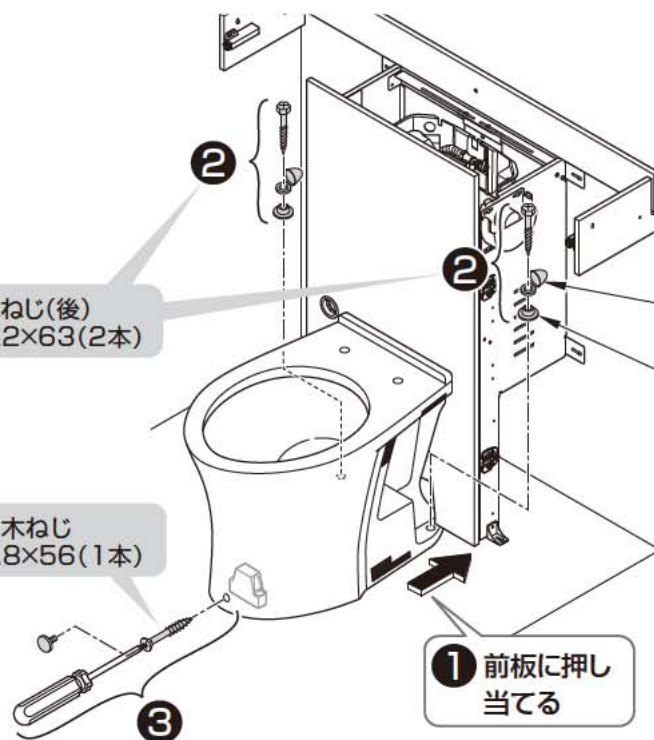


木ねじ(後)  
6.2×63(2本)

皿木ねじ  
5.8×56(1本)

化粧キャップ  
(後固定用)  
ワッシャー  
(後固定用)

① 前板に押し  
当てる



# 8.ウォシュレット

## 1 ウォシュレットの設置

▶ウォシュレット施工説明書

## 2 プラグ・ホースの差し込み

の差し込み

▶P.35

## 3 ホースの接続

▶P.35

## 4 リモコン

の設定・作動確認

▶P.36

## 5 サイドカバー

の取り付け

▶P.37

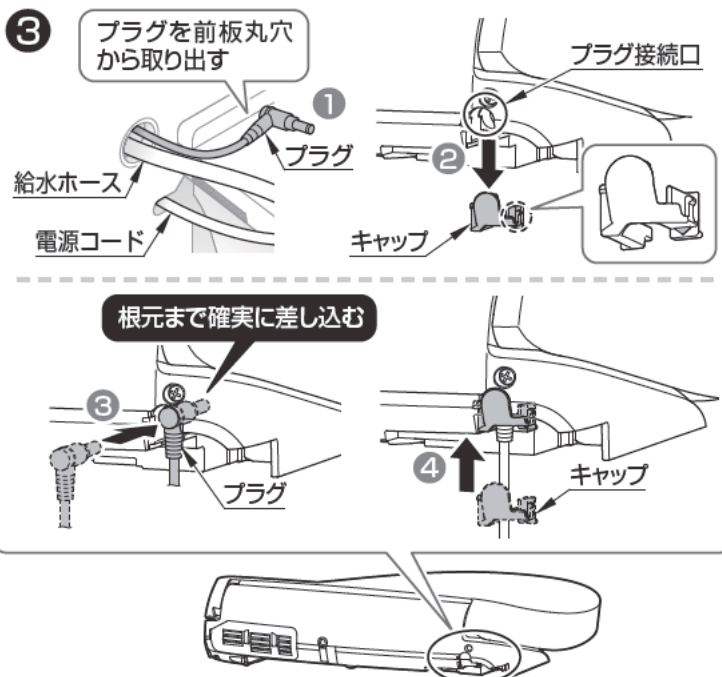
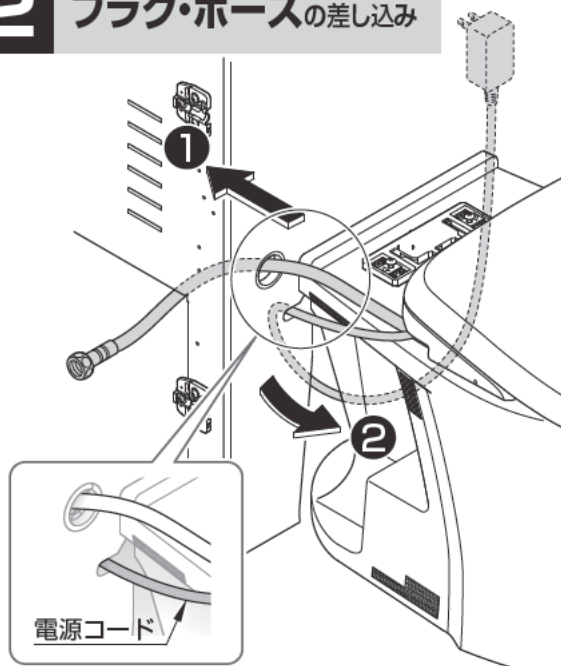
## 1 ウォシュレットの設置

▶ウォシュレット施工説明書

既存給水流用 左立管対応の場合  
給水ホースを交換する  
別売品 ウォシュレット用給水ホース(TCA525)

作業がしやすいようにウォシュレットを  
手前に引き出しておく。

## 2 プラグ・ホースの差し込み

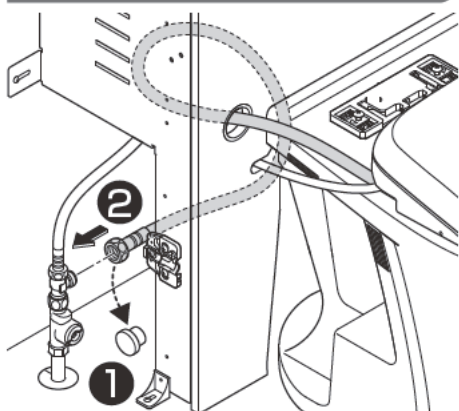


## 3 ホースの接続

**注意**

ホースを折り曲げたりつぶしたりしない

床給水、壁給水、既存給水流用 左立管対応の場合

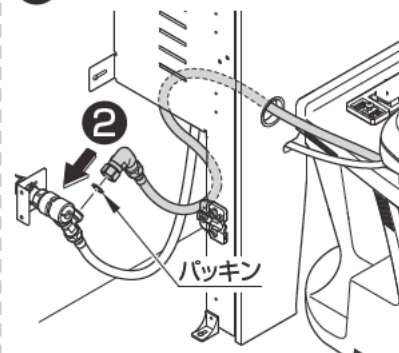


既存給水流用 立管なし/右立管対応の場合

### 1 ホースと給水アダプターの接続



### 2 ホースの接続



## 4 リモコンの設定・作動確認

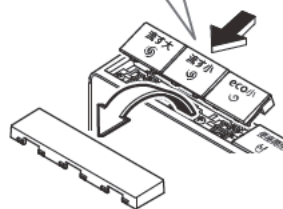
### 1 電源プラグの差し込み

※ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認

### 2 流すボタンの取り付け

▶流すボタン取付説明書

流すボタン  
(ウォシュレット専用便器洗浄ユニットに同梱)



#### 注意

リモコンには流すボタンが  
取り付けいていません。  
必ず取り付けてください。

### 3 ウォシュレット本体の電源プラグを差し込んだことを確認し、モード設定をする

#### 注意

モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れたあとに行ってください。  
※ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。

### 4 ビデ/ワイド と 水勢 - を同時に10秒以上押す

リモコンランプが点灯・点滅します。



### 6 ビデ/ワイド と 水勢 + を同時に10秒以上押す

リモコンランプが点灯・点滅します。



### 5 洗浄レバーが右の場合

おしり/ソフト 水勢 - 水勢 + の順に押す



### 洗浄レバーが左の場合

ビデ/ワイド おしり/ソフト ビデ/ワイド の順に押す



### 7 おしり/ソフト 水勢 - おしり/ソフト の順に押す

洗浄レバーが右の場合

洗浄レバーが左の場合



電子音が鳴ると同時に本体表示部(便座)ランプが点滅することを確認する  
電子音とランプの点滅が上記でなかった場合は、設定が正しくできていません。手順④⑤に戻り設定しなおしてください。

### 8 作動確認

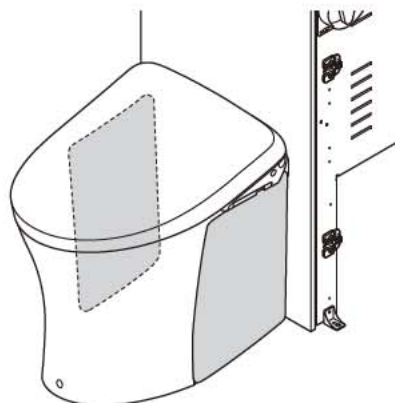
※連続して流すボタンを押しても作動しません。約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



■正しく作動しない場合は、再度手順③から設定してください

## 5 サイドカバーの取り付け

【カバーの位置】



取り付けかた

① サイドカバーの面ファスナーと便器の面ファスナーの位置をあわせて取り付け



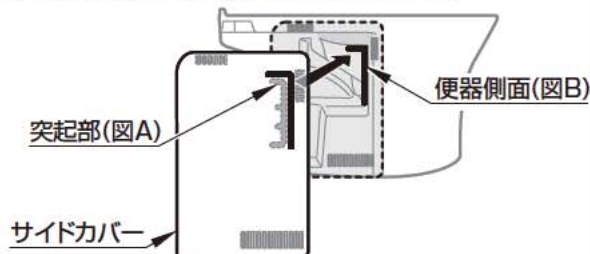
② しっかり押さえて、外れないことを確認



※面ファスナー部(3カ所)をしっかり押さえる。

ポイント

サイドカバーの裏面突起部(図A)と便器側面(図B)の位置をあわせると容易に取り付けることができます。



取り外しかた



後方を手前方向に

※左右2カ所

MEMO

# 9. 棚板・タンク上収納底板用アングル材(まるごと収納タイプ)

**1** 棚板のカット

▶P.38

**2** 棚板の取り付け

▶P.39

まるごと収納タイプ

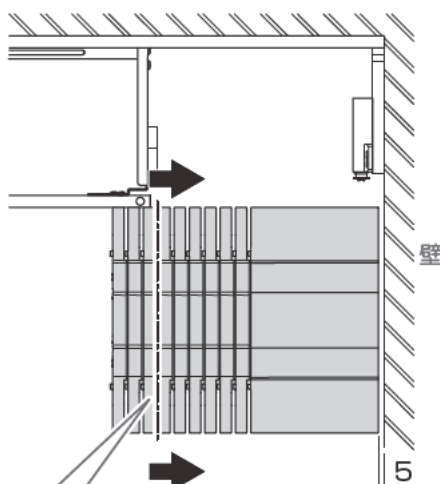
**3** アングル材の取り付け

▶P.39

## 1 棚板のカット

### ① 設置寸法の測定

【上図】



**2** けがき

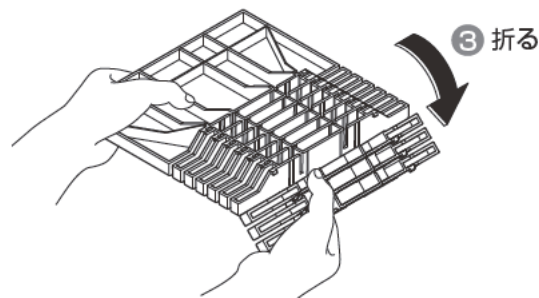
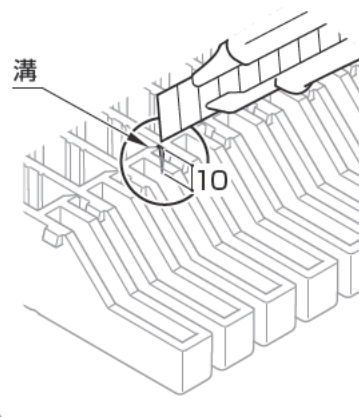
前板の端から壁側寄りにある一番近い溝

**①** 5mm程度すき間を空けて、前板に当てる

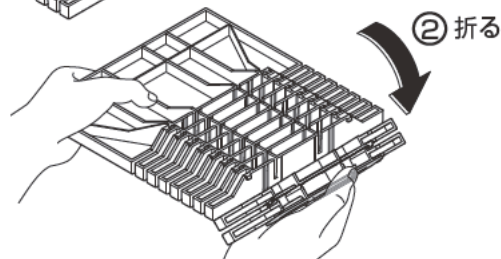
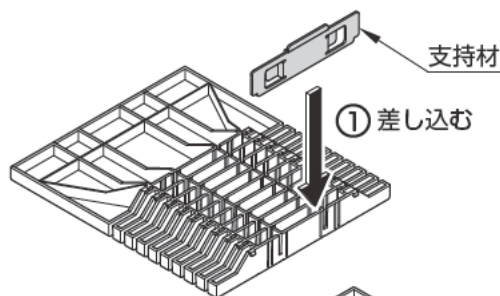
【裏面】

けがいた位置を確認(4カ所)

**②** リブの溝にあわせて切り込みを入れる(4カ所)

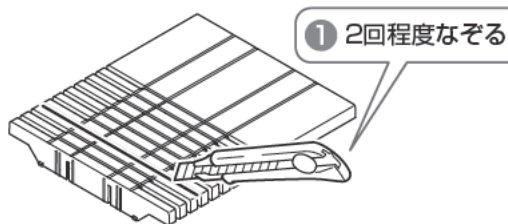


棚板のカット寸法が小さく折りづらい場合

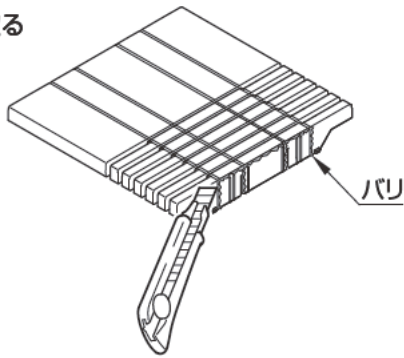


### ② 棚板のカット

【上面】



## 4 バリを取る



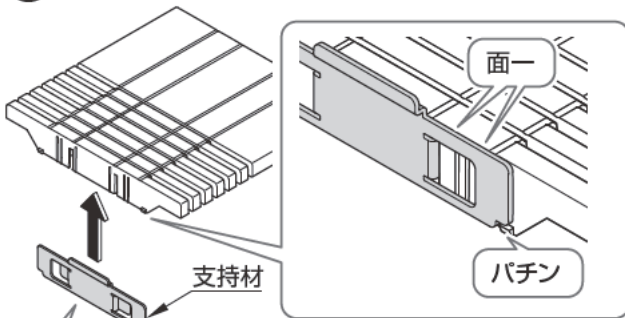
## 注意

## 棚板を切断したあとは必ずバリを取る

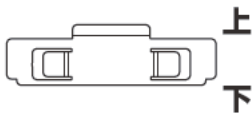
バリ取りが不十分な場合は、切断面でけがをするおそれがあります。

## 2 棚板の取り付け

## 1 支持材の取り付け

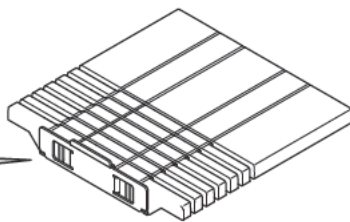


支持材の上下に気を付ける



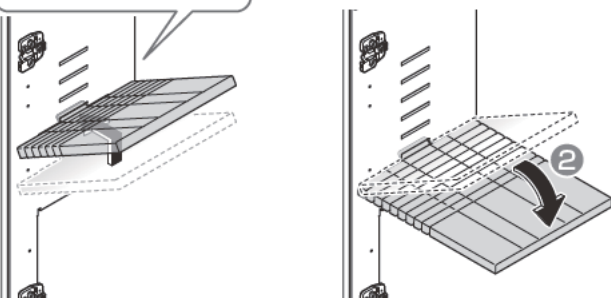
## 完成図

支持材が外れないことを確認



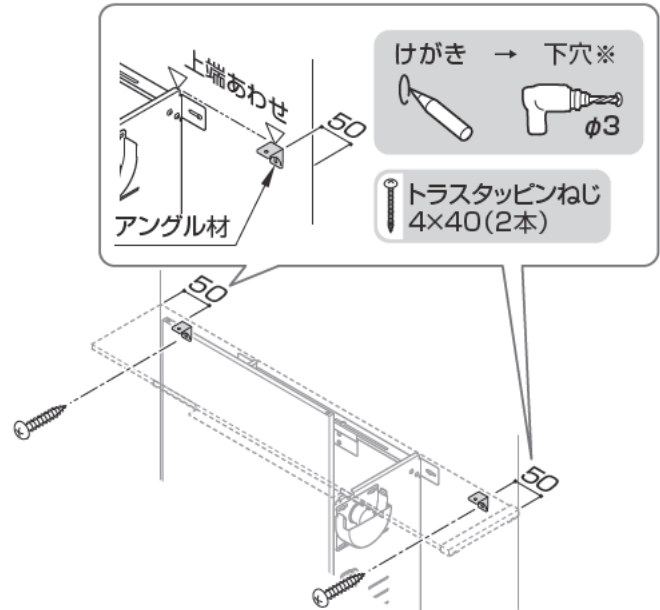
## 2 棚板の取り付け

## 1 溝に棚板の支持材を差し込む



## まるごと収納タイプ

## 3 アンクル材の取り付け



※【壁裏補強なしの場合】  
下穴 → ボードアンカー  
(オプション)



※立管対応タイプの場合は  
1カ所のみ

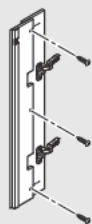
## MEMO

## 10.扉

2 扉の取り付け 調整については下記URL内の「扉の調整」をご覧ください。  
[URL] [https://jp.toto.com/support/repair/solution\\_t/08\\_02.htm](https://jp.toto.com/support/repair/solution_t/08_02.htm)

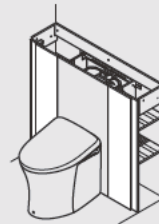


## 1 扉の組み立て



▶P.40

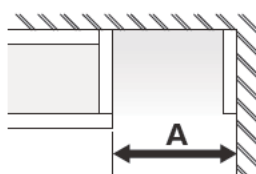
## 2 扉の取り付け



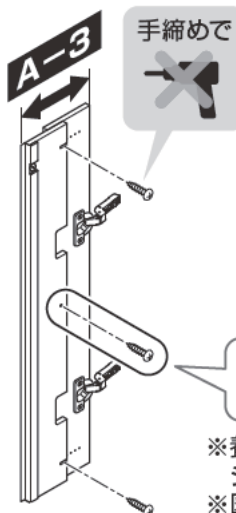
▶P.40

## 1 扉の組み立て

## ① 設置寸法の測定



## ② 扉の組み立て

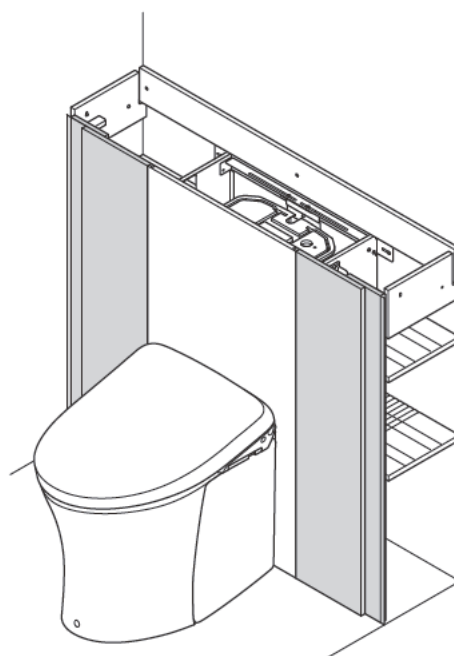


手締めで

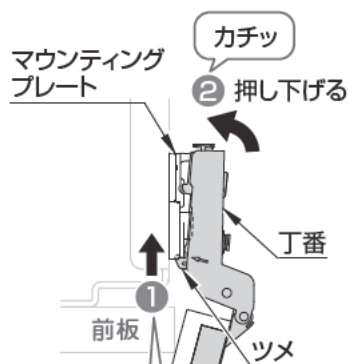
トラスタッピンねじ  
4×20(2本)本固定用(ここでは使用しない)  
▶「15.仕上げ」※養生シートがある場合は取付前に  
シートをはがす  
※図は右扉セットの場合

## 2 扉の取り付け

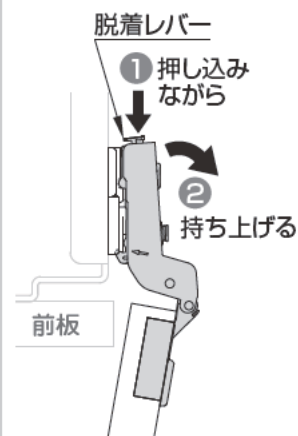
## ① 扉をコアキャビネットの丁番に取り付け



## 取り付けかた

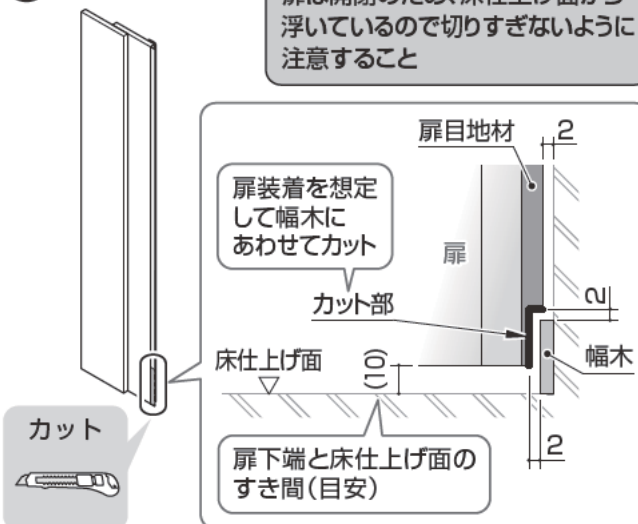
マウンティングプレート  
先端にツメを引っ掛ける丁番本体がきちんと  
マウンティングプレートに  
装着されているか確認する

## 取り外しかた



## 幅木がある場合

## ③ 扉目地材のカット

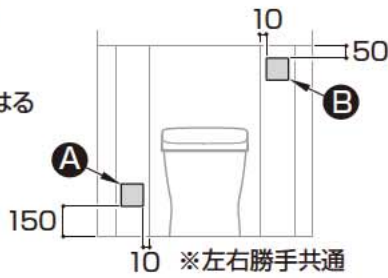
扉は開閉のため、床仕上げ面から  
浮いているので切りすぎないように  
注意すること



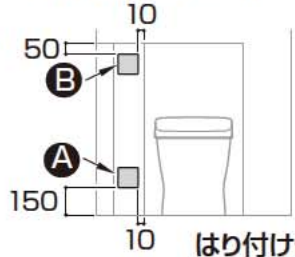
## ② ラベルのはり付け

**A** 止水栓ラベル  
止水栓がある側にはる

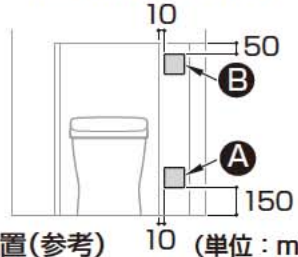
**B** 便器洗浄ラベル



【立管が右にある場合】



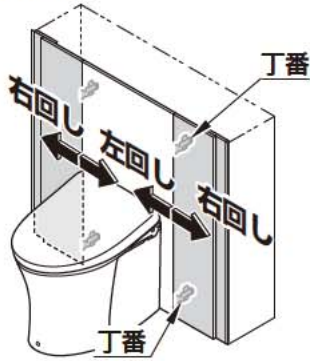
【立管が左にある場合】



はり付け位置(参考) 10 (単位: mm)

## 扉の調整

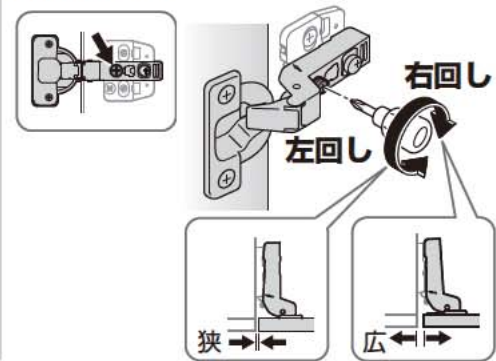
【左右】



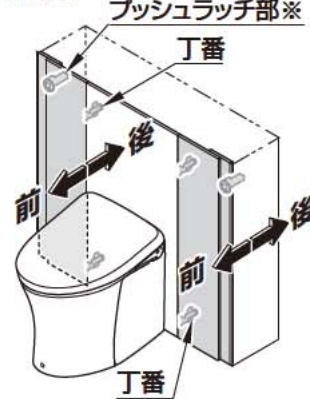
【左扉の場合】



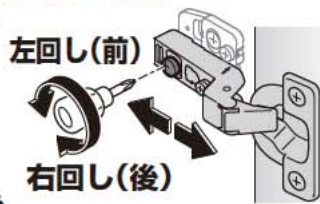
【右扉の場合】



【前後】



【左扉の場合】



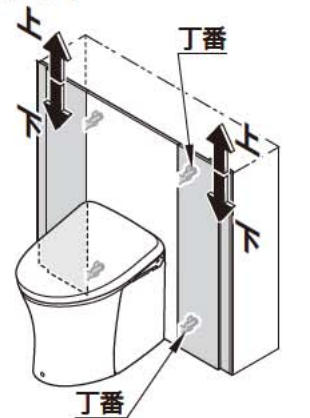
【右扉の場合】



※プッシュラッチ部も  
前後調整できます。



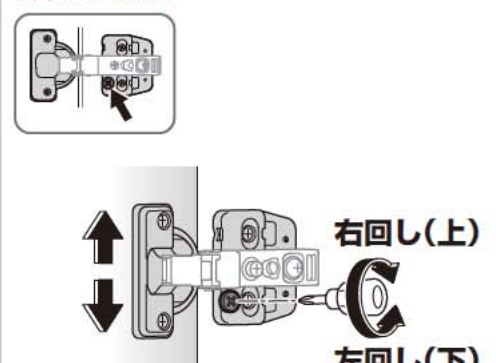
【上下】



【左扉の場合】



【右扉の場合】



### 注意

扉の上下調整は上下2つの丁番の移動方向をあわせる  
逆方向に移動すると扉の動きがかたくなる、また扉が反ることがあります。

※扉の向きによって  
調整ねじ位置が変わります。

【お引渡し前に】

扉の本固定と調整を必ず行ってください。▶ P.53

# 11. 試運転・確認

## 1 ウォシュレット

▶ウォシュレット  
施工説明書

## 2 便器洗浄の確認

▶P.42

## 3 大便器・配管類 の水漏れ確認

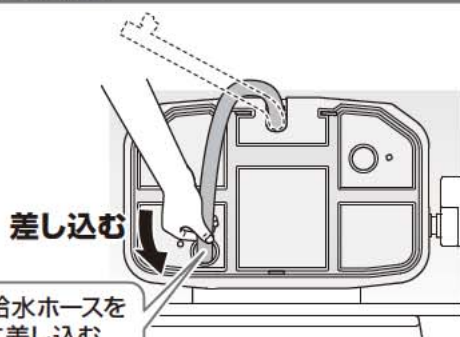
▶P.43

## 4 水位確認

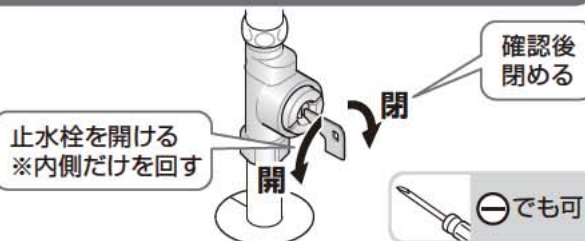
▶P.43

### 試運転前に

手洗器ありの場合



共通



### 洗浄レバー

【確認ポイント】

- 大・小洗浄とも正常に行われるか
- スムーズに回転するか



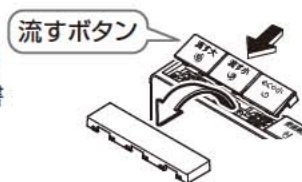
### 注意

正常に作動しない場合、洗浄レバーカバーの  
取付位置を確認してください。

洗浄レバー補助カバーを取り付ける

### リモコン

流すボタンが  
取り付けられているか  
▶流すボタン取付説明書



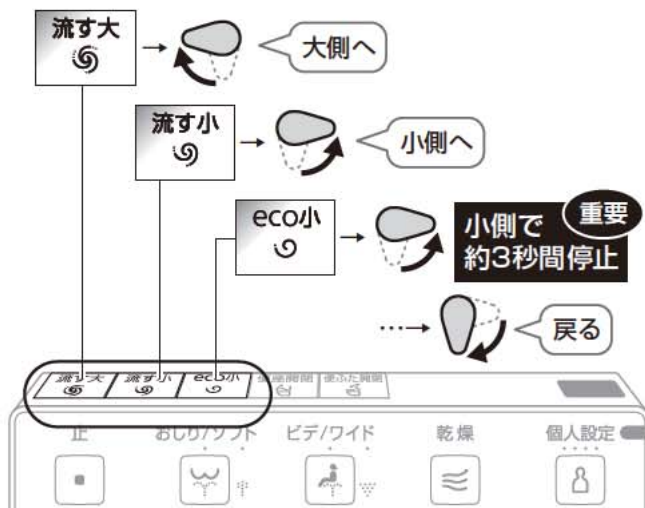
### 作動確認

【確認のポイント】

- 「大」・「小」・「eco小」のボタンを押して、それぞれの  
洗浄が正常に行われるか

※連続して押すと作動しません。

約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



※機種によってデザインなどが異なります。

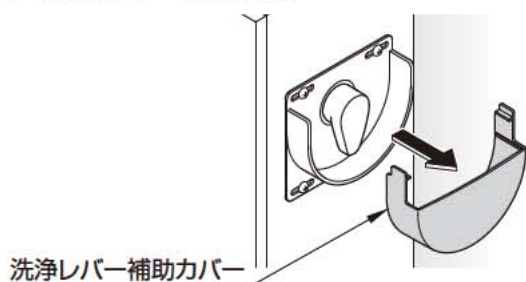
## 1 ウォシュレット

吐水確認をする  
▶ウォシュレット施工説明書

## 2 便器洗浄の確認

洗浄レバー補助カバー

洗浄レバー補助カバーを取り外す



試運転完了後、「運転入/切」が、「入」になっていることを確認する（「運転ランプ」点灯）

「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは作動しません。

※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」を切らないでください。

## 必ず実施してください

### 4 水位確認

#### 正常な状態

設定変更不要です。



設定を行うと、洗浄不良になる場合があります。

#### 水たまり面が低い

設定変更してください。

▶P.44

「水たまり面が低い場合の対応方法」



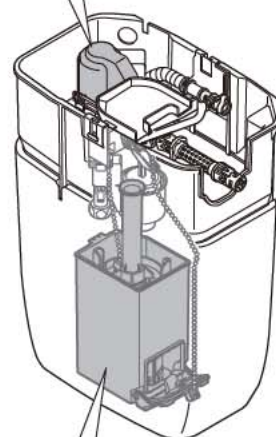
汚物付着の原因になります。  
〈水たまり面 低下の理由〉  
・排水管に曲がりが多い  
・通気が不十分

#### 〈水たまり面の判断に迷ったときは…〉

ペットボトルやバケツなどで徐々に水をたし、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

#### タンク内を調整する際のご注意

漏水防止カバーを外さない

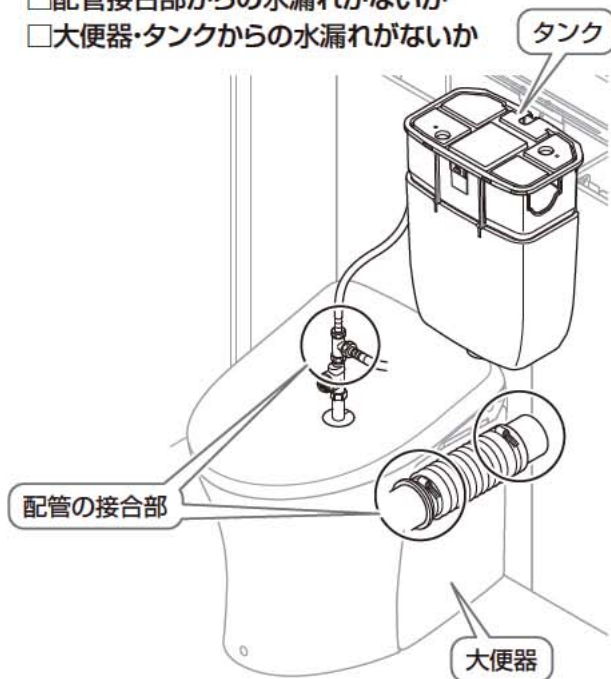


制御筒に力を加えない  
排水弁が浮いて、水が流れっぱなしになるおそれがあります。

### 3 大便器・配管類の水漏れ確認

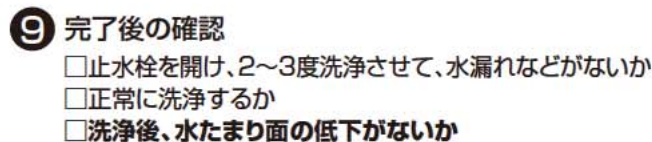
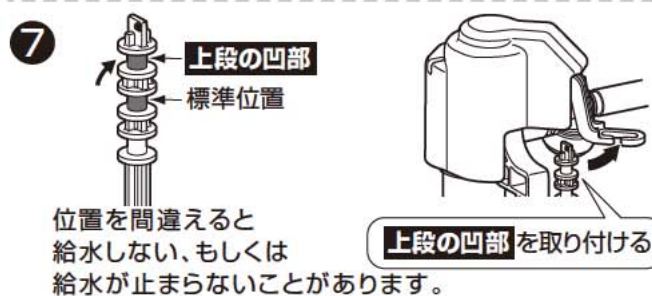
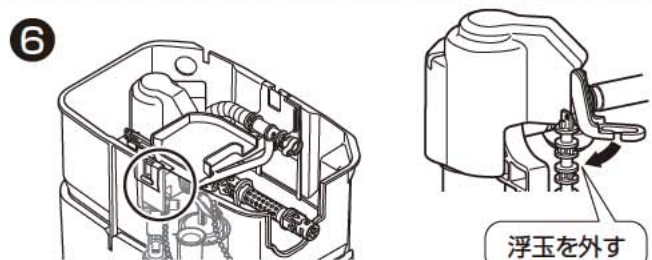
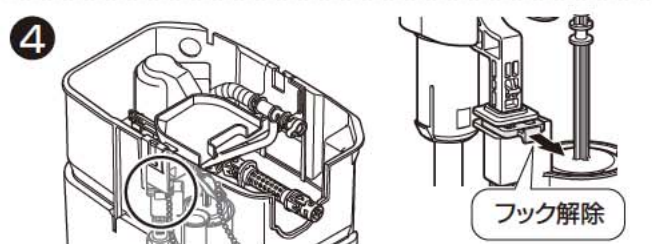
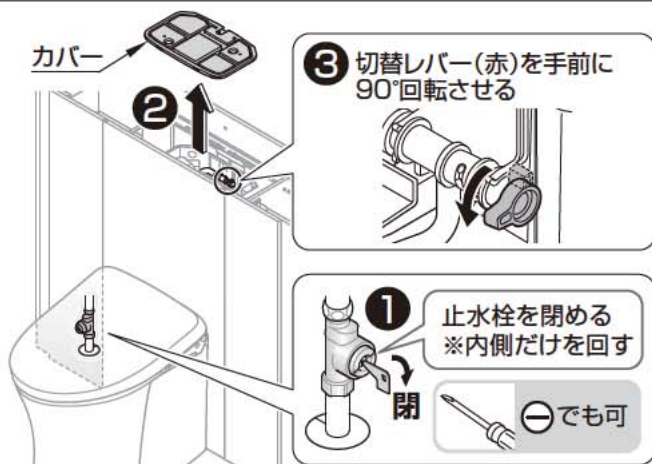
2～3度洗浄させて、水漏れなどがないことを確認する【確認のポイント】

- 給水ホースの接続箇所は正しいか
- 配管接合部からの水漏れがないか
- 大便器・タンクからの水漏れがないか



## MEMO

## 水たまり面が低い場合の対応方法

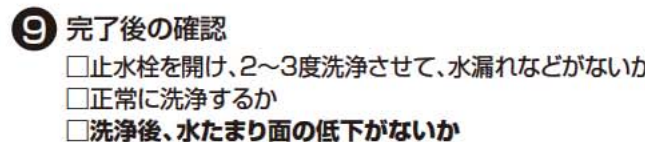
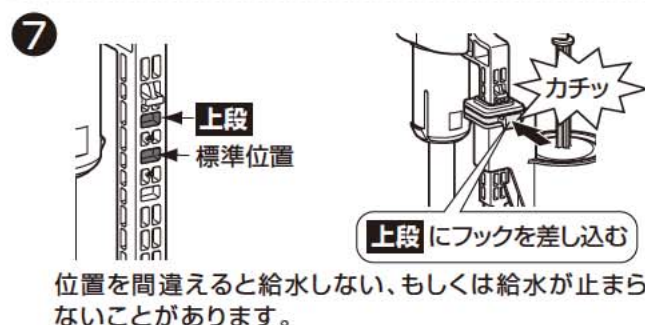
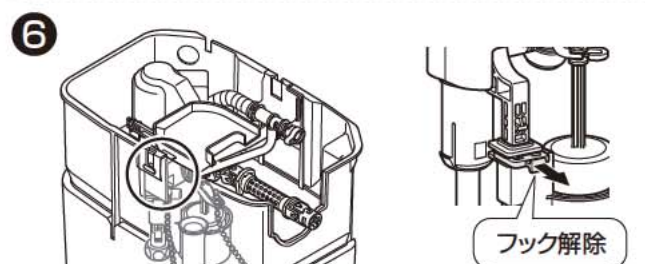
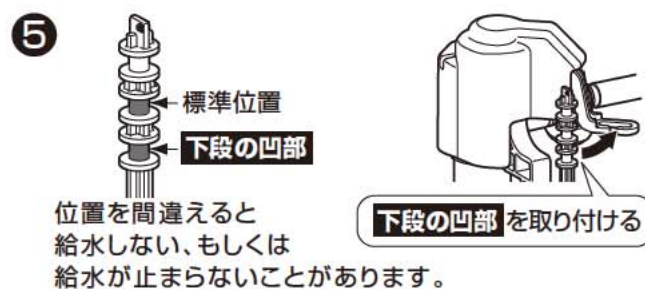
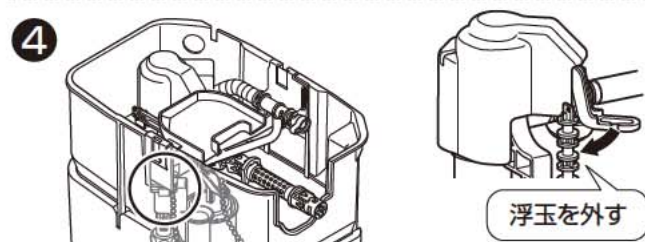


## 自治体によって洗浄水量の規制がある場合

【変更前】		変更 できます。	
大洗浄	4.8L	大洗浄	6L
小洗浄	3.6L	小洗浄	4.8L
eco小洗浄	3.4L	eco小洗浄	4.6L
		大洗浄	8L
		小洗浄	6L
		eco小洗浄	5.5L

## 大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L への切替方法

① ~ ③  
▶P.44左 水たまり面が低い場合の対応方法 の  
① ~ ③を実施



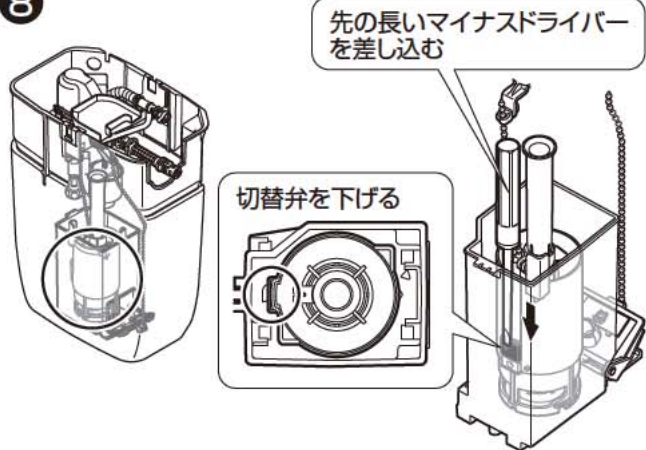
### 大洗浄8L、小洗浄6L、eco小洗浄5.5L への切替方法

①～⑦

▶P.44右 大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L の

①～⑦を実施

⑧



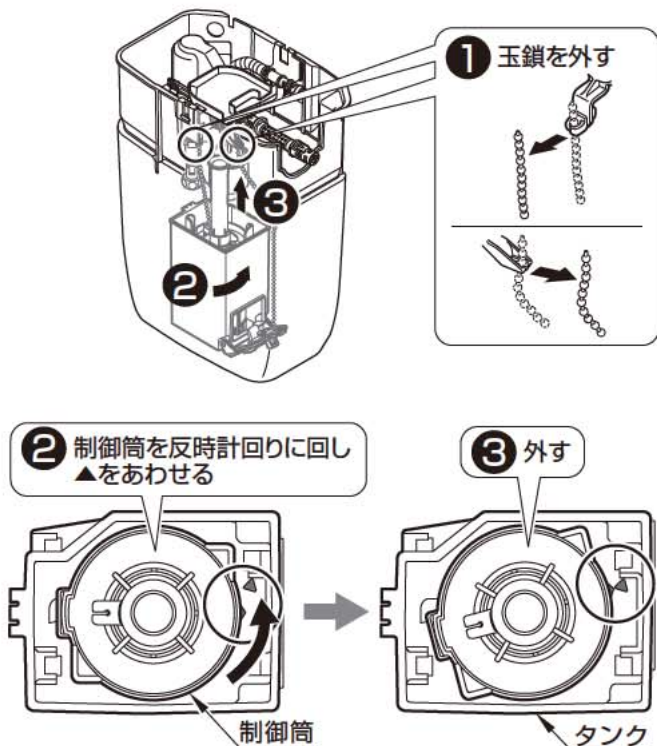
⑨ カバーを元に戻す



⑩ 完了後の確認

- 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- 正常に洗浄するか
- 洗浄後、水たまり面の低下がないか

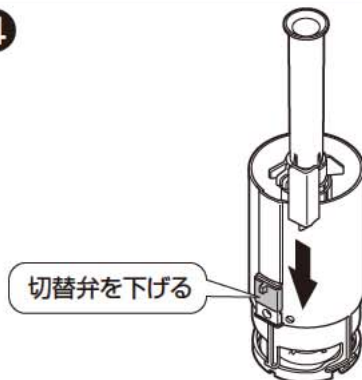
切替弁を下げられなかった場合



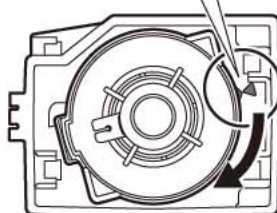
注意

制御筒の取り外し時に樹脂タンクに傷を付けないこと

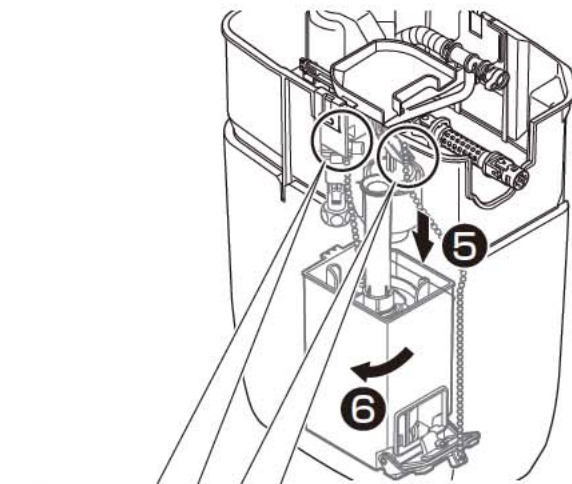
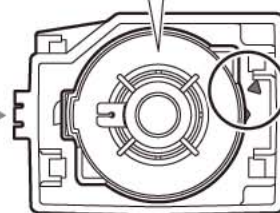
④



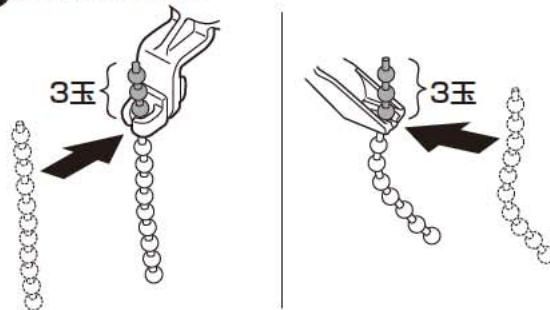
⑤ ▲をあわせて取り付ける



⑥ 制御筒を時計回りに回す



⑦ 玉鎖を取り付ける



正しく取り付けないと止水不良になります。

⑧ カバーを元に戻す



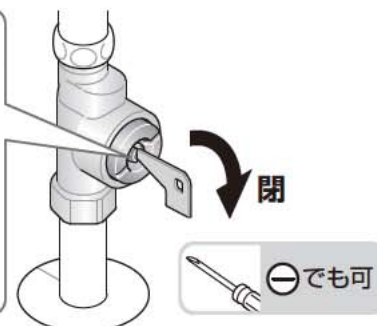
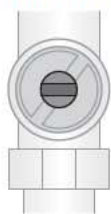
⑨ 完了後の確認

- 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- 正常に洗浄するか
- 洗浄後、水たまり面の低下がないか

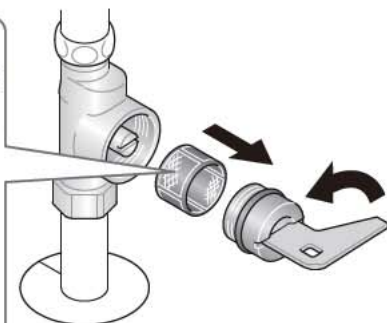
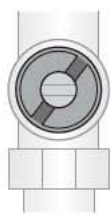
## 12. 給水フィルターの清掃

必ず実施してください

① 止水栓を閉める  
※内側だけを回す



② ふたを開け、  
給水フィルターを  
取り外す  
※外側だけを回す

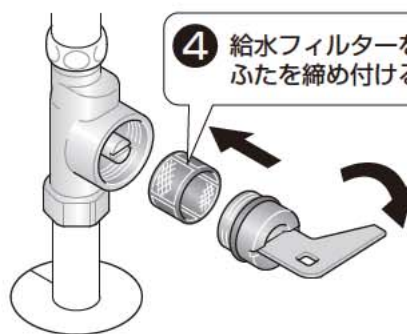


※ 止水栓は必ず商品同梱の専用  
止水栓(フィルター付き)を取  
り付けてください。

③ 給水フィルターの清掃



④ 給水フィルターを取り付け、  
ふたを締め付ける

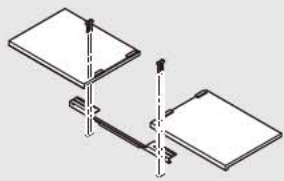


# MEMO

# 13-1. 天板 【手洗器あり】

「手洗器なし」の場合は、P.49を参照してください。

## 1 天板の組み立て(仮固定)



▶P.47

## 2 天板の取り付け・調整



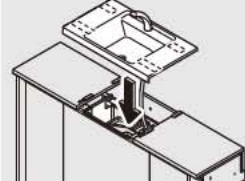
▶P.47

## 3 手洗器の取付準備



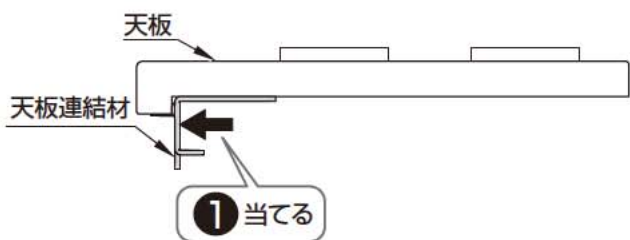
▶P.48

## 4 手洗器の取り付け

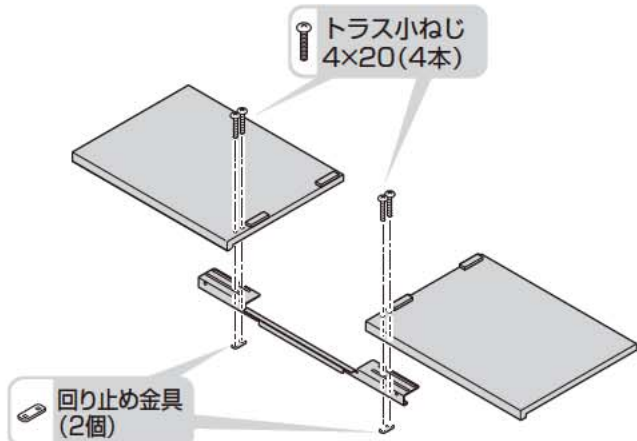


▶P.48

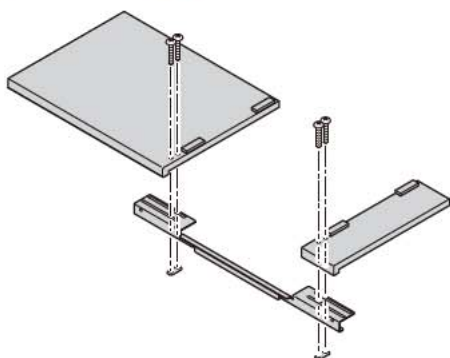
## 1 天板の組み立て(仮固定)



## 2 仮固定

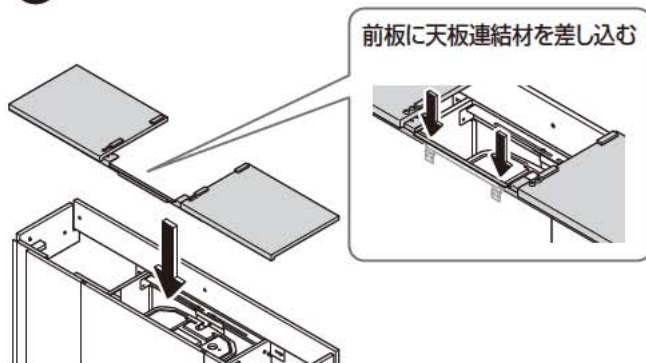


【立管対応タイプの場合】



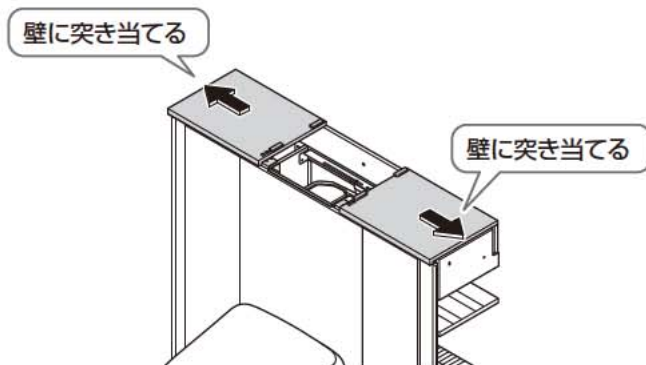
## 2 天板の取り付け・調整

### 1 天板の取り付け

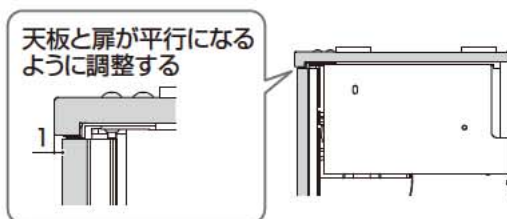


### 2 天板の調整

左右の天板を間口にあわせて横方向にスライドする



※立管対応タイプの場合は、側板の端とあわせる。



### 3 本固定

天板を調整して 1 のねじを本固定する

手締めで

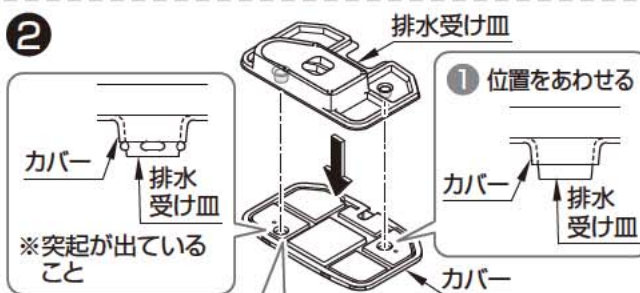


### 3 手洗器の取付準備

#### ① カバーを取り外す



#### ②



#### ② カバーを持ち上げる



#### ③ 排水口のまわりを押す



## 注意



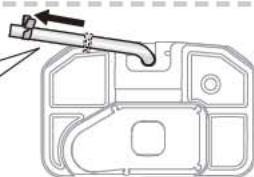
必ず守る

しっかり差し込めれていることを確認  
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因  
となります。

#### ③ セットタンクへ②を設置する



#### ④ 端に寄せる



#### ⑤ 手洗い金具の取り付け



## 注意



必ず守る

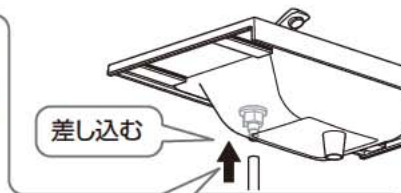
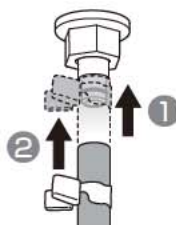
締め付け過ぎない  
破損して水漏れし家財などをめらす財産損害発生  
の原因となります。

### 4 手洗器の取り付け

#### ① 手洗い金具と給水ホースの接続

##### ① 奥まで差し込む

##### ② ホースクランプで固定



## 注意

ホースはカットしないこと  
ホースが折れ曲がり、正しく  
吐水しないおそれがあります。

## 注意

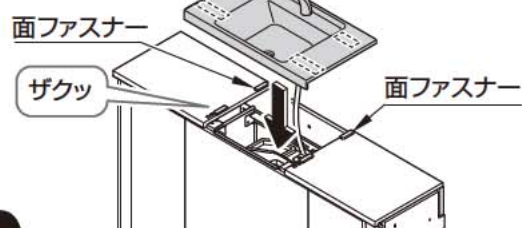


必ず守る

給水ホースは手洗い金具の根元まで  
しっかり差し込む

水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因  
となります。

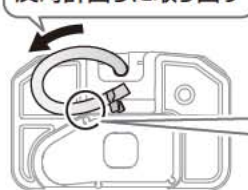
#### ② 手洗器の取り付け



## 注意

給水ホースが折れ曲がらないように、注意して  
下図の通り手洗器を取り付ける  
手洗器の吐水不良となるおそれがあります。

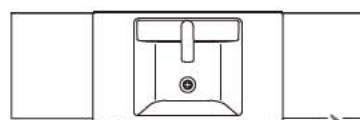
##### 反時計回りに取り回す



##### 乗上げていない



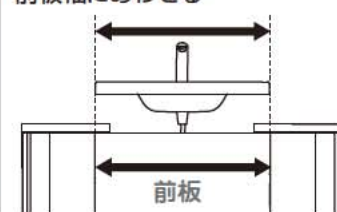
##### 乗上げている



##### 後壁に押し付ける



##### 前板幅にあわせる





# 13-2. 天板【手洗器なし】

「手洗器あり」の場合は、P.47を参照してください。

まるごと収納タイプ	<b>1 天板の加工</b> ▶P.49	<b>2 天板の取り付け</b> ▶P.49	<b>3 ダンパーの取り付け</b> ▶P.50	<b>4 タンク上収納 底板の取り付け</b> ▶P.50	<b>5 天板の調整</b> ▶P.50
	<b>1 天板の加工</b> ▶P.51	<b>2 天板の組み立て</b> ▶P.51	<b>3 天板の取り付け</b> ▶P.51		

## まるごと収納タイプ

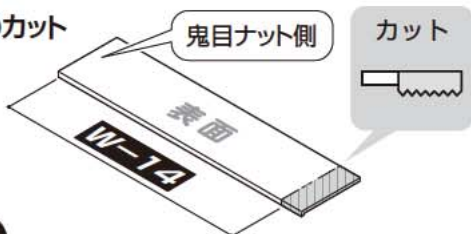
### 1 天板の加工

#### ① W寸法測定

狭い方を基準にする



#### ② 天板のカット



#### ポイント

鬼目ナット側はカットしない



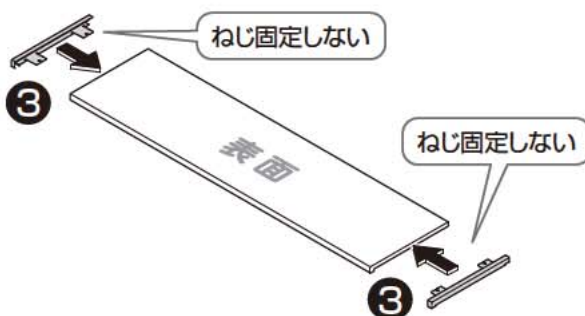
チッピングに注意!



のこぎりの場合は表面からカット



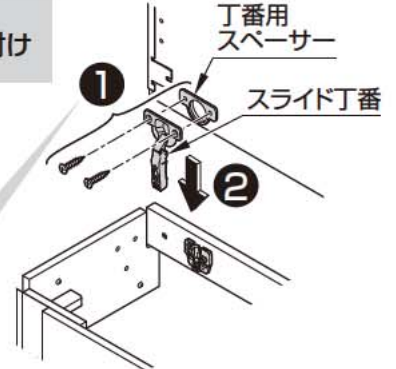
丸のこの場合は裏面からカット



### 2 天板の取り付け

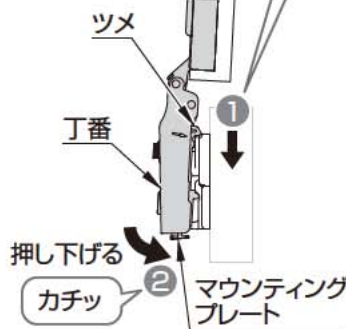
皿タッピンねじ 3.5×14 (左右計4本)

手締めで



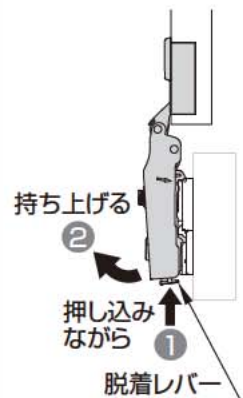
#### 取り付けかた

マウンティングプレート先端にツメを引っ掛ける



丁番本体がきちんとマウンティングプレートに装着されているか確認する

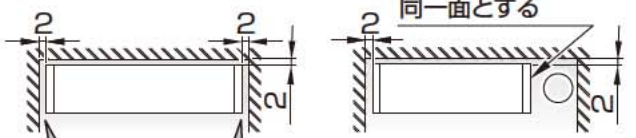
#### 取り外しかた



#### ③ 調整

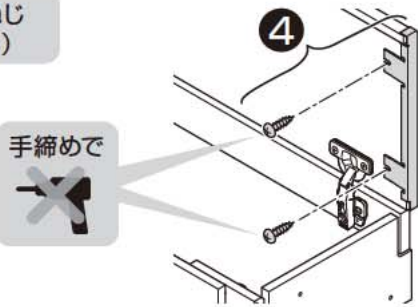
【立管対応露出タイプの場合】

側板と天板の端は同一面とする



### まると収納タイプ

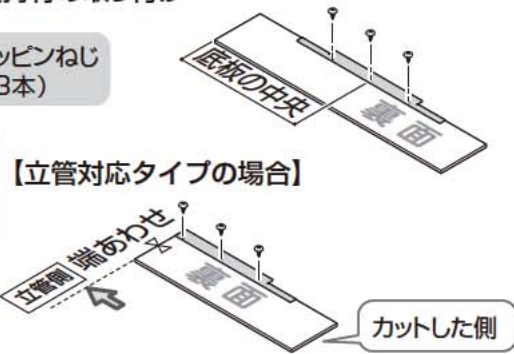
トラスタッピンねじ  
4×8(左右計4本)



### 3 底板支持材の取り付け

トラスタッピンねじ  
4×10(3本)

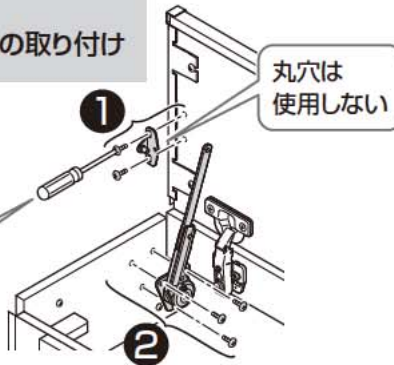
手締めで



### 3 ダンパーの取り付け

トラス小ねじ  
M4×8(5本)

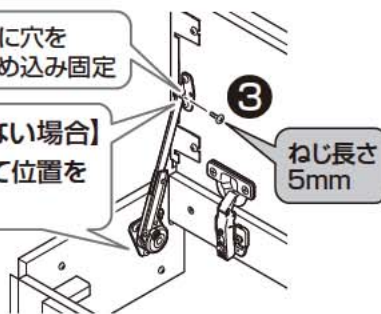
固定後ゆるみがないか確認



トラス小ねじ  
M4×5(1本)

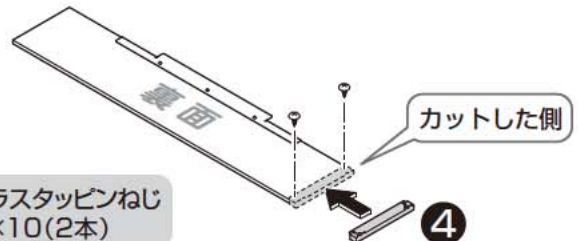
軸に穴を  
はめ込み固定

【軸に穴があわない場合】  
小ねじをゆるめて位置を  
調整する



### 5 タンク上収納底板の 取り付け

トラスタッピンねじ  
4×10(2本)



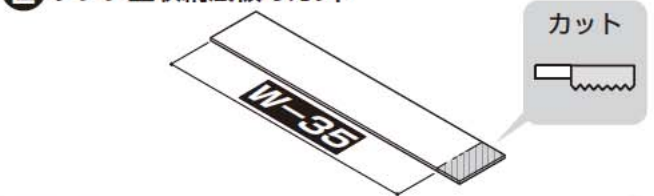
### 4 タンク上収納底板の取り付け

#### 1 W寸法測定

【立管対応タイプの場合】



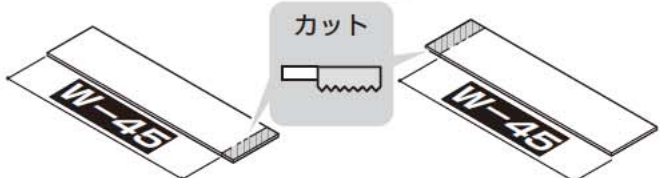
#### 2 タンク上収納底板のカット



立管対応の場合

【左側に立管がある場合】

【右側に立管がある場合】



### 5 天板の調整

位置調整

【上下】



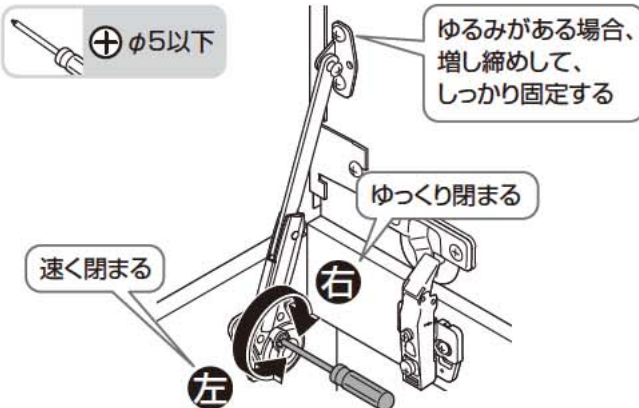
【前後】



【左右】



閉まり速度調整



**注意**



禁止

調整時に弱めすぎない  
天板が速く閉まり、けがの原因となります。

分解、改造をしない  
器具が破損し、けがの原因となります。

※速度調節部は、限度以上に回さないでください。  
※温度によりダンパーの作用速度が変わることがありますが、故障ではありません。

**【お引渡し前に】**  
天板の調整を必ず行ってください。

収納タイプ

**1** 天板の加工

**1** W寸法測定

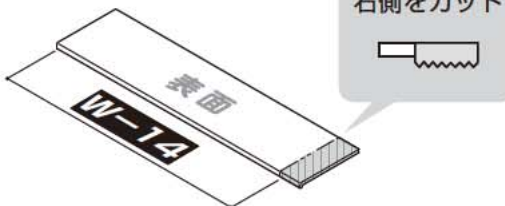
狭い方を  
基準にする



【立管対応露出タイプの場合】



**2** 天板のカット



ポイント

チッピングに注意!



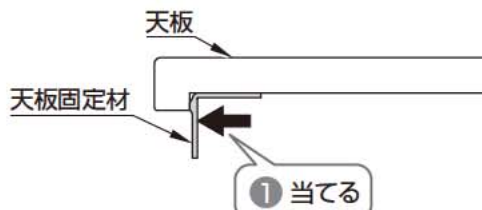
のこぎりの場合は  
表面からカット



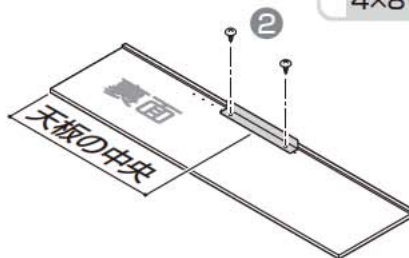
丸のこの場合は  
裏面からカット

**2** 天板の組み立て

**1** 天板固定材の取り付け



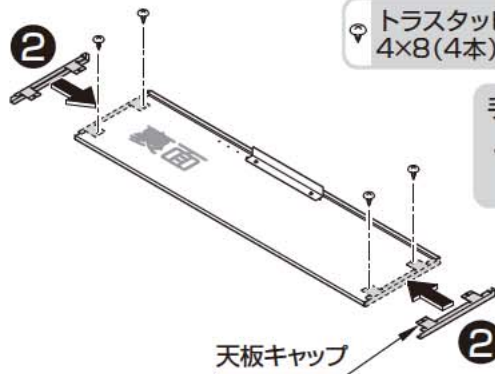
トラスタッピンねじ  
4×8(2本)



手締めで



トラスタッピンねじ  
4×8(4本)

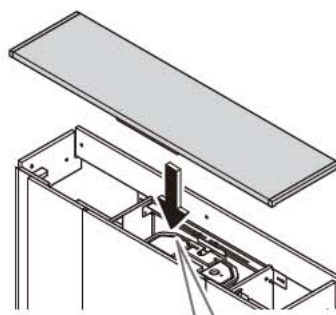


手締めで

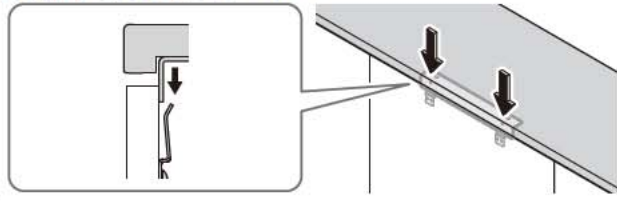


**3** 天板の取り付け

**1** 天板の取り付け



前板に天板固定材を差し込む



# 14.リモコン

- ① リモコンの取り付け  
▶ウォシュレット施工説明書

- ② リモコンの作動確認  
▶P.42 ②「便器洗浄の確認」 リモコン



# 15.仕上げ

- 1 シリコン系  
シール剤の塗布



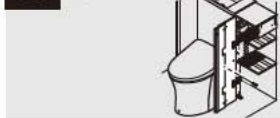
▶P.52

- 2 クッション  
の貼り付け



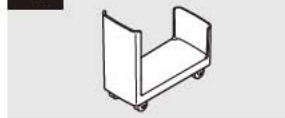
▶P.52

- 3 扉の本固定



▶P.53

- 4 引き出しラックの設置



▶P.53

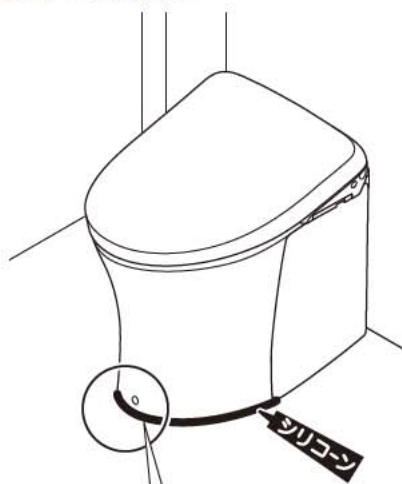
## 1 シリコン系シール剤の塗布

### 大便器

水や小水の浸入を防止するため、便器床接地部周囲に防カビ性の透明シリコン系シール剤を塗布することをおすすめします。

※手洗器と壁の間は、シリコン系シール剤を塗布しないでください。

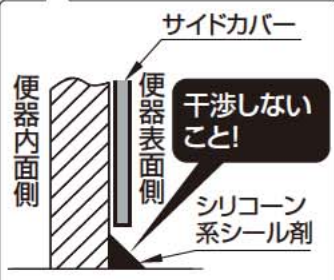
※TOTOおすすめシリコン系シール剤(別途手配)  
メジシール(クリア) : YG903S



### 注意

塗布したシリコン系シール剤がサイドカバーに当たらないよう注意する

シリコン系シール剤にサイドカバーが干渉するとサイドカバーが取り付けできなくなるおそれがあります。



## 2 クッションの貼り付け

### ポイント

はり付け面は水ぶきし、乾燥後はり付ける

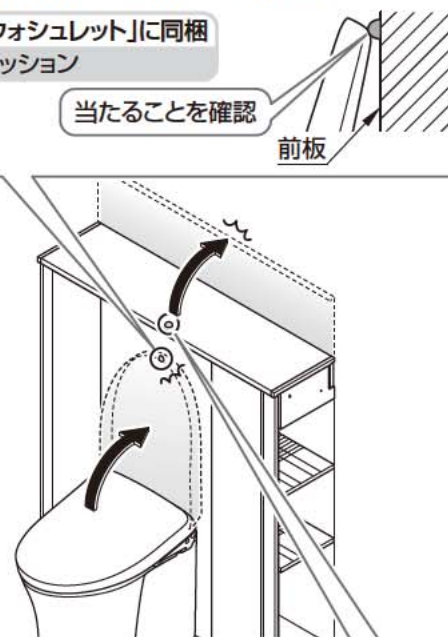
便ふたが開いたときに当たる場合ははり付ける  
【手洗器あり】手洗器前面  
【手洗器なし/収納タイプ】天板前面  
【手洗器なし/まるごと収納タイプ】前板



「ウォシュレット」に同梱  
クッション

当たることを確認

前板



天板を開けたとき、壁などと当たる場合ははり付ける



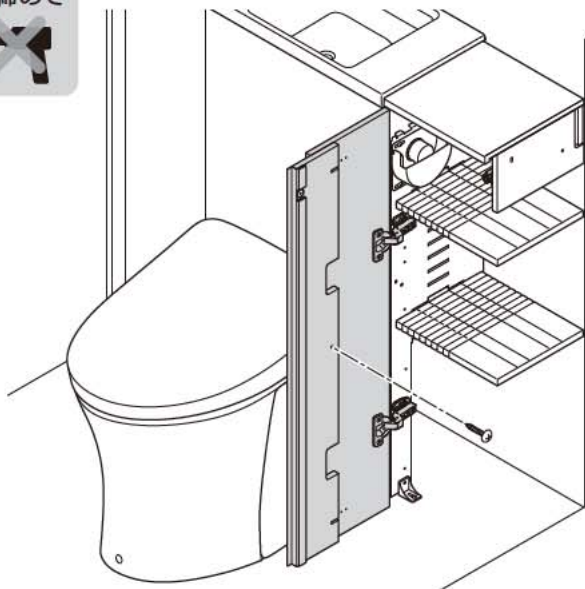
「施工説明書」に同梱  
クッション

※お使いにならない場合は、取扱説明書と一緒にお客様に渡してください。

### 3 扉の本固定

トラスタッピンねじ  
4×20 (1本)

手締めで



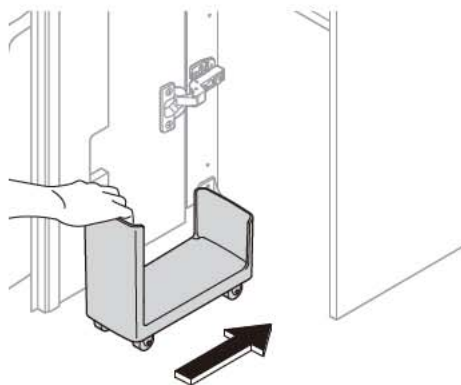
□扉の調整 ▶P.41

□天板の調整

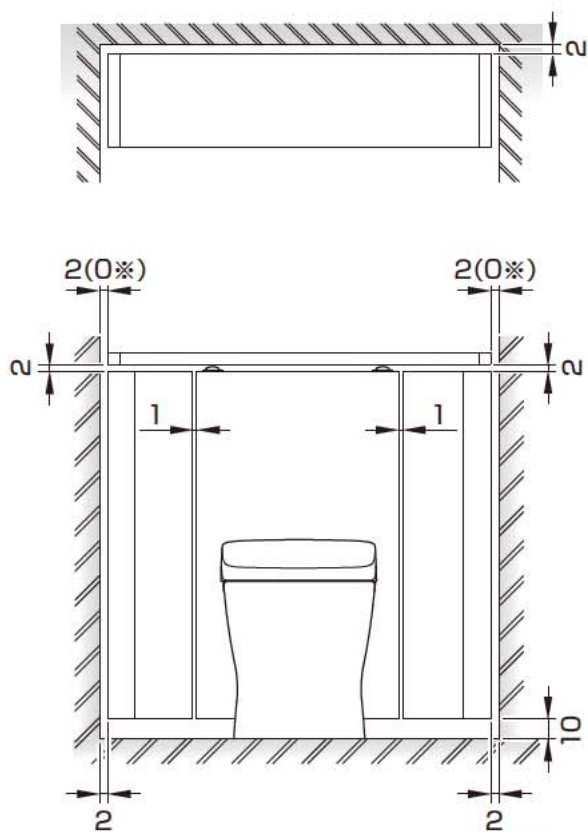
まるごと収納タイプの場合 ▶P.50

### 4 引き出しラックの設置

大便器キャビネットの中に収納する



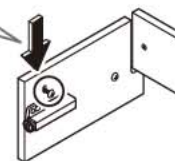
#### 仕上げ状態 (目安)



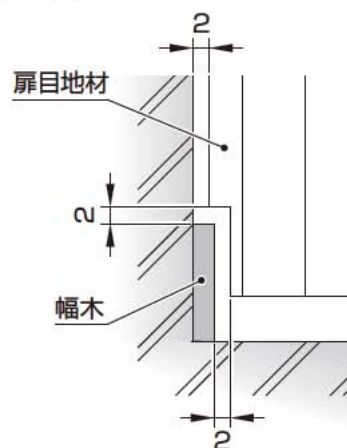
※手洗器ありの場合

【天板と壁側板が当たり2mmにならない場合】  
ねじをゆるめて押し下げる

押し下げる



【幅木がある場合】



# MEMO

# MEMO

# 引渡し前の点検

お引渡し前に、必ず確認してください。

- 大便器や手洗器、配管類から水漏れなどありませんか？ ▶P.43
- フィルター付止水栓のフィルターは清掃しましたか？ ▶P.46
- 扉の目地材と壁が接触していませんか？ ▶P.40
- 扉の丁番はスムーズに開きますか？ ▶P.41
- 以下の箇所にゆるみ・ガタはありませんか？
- 陶器表面に傷などありませんか？

